

令和7年度 生活交通に関するアンケート調査 集計結果

目次

1	調査の実施概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の設計	1
(3)	調査票の回収状況	1
(4)	本報告書の数値の取り扱い等	2
2	集計結果	3
(質問1)	回答者の属性	3
(質問2)	普段の生活交通について	7
(質問3)	本町の公共交通のご利用について	13
(質問4)	令和7年4月の公共交通見直しについて	30
(質問5)	本町の公共交通全般に関して	33

1 調査の実施概要

(1) 調査の目的

町民の移動実態及び生活交通に係るニーズ等を把握して、大崎上島町地域公共交通計画（第2期）策定の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の設計

①調査対象

全世帯を対象とする。（15歳以上の方に回答を依頼）

②調査方法・時期

配布：自治会経由で各戸配布

回収：紙面で回答※、またはWEB回答

※郵送、または役場本庁・各支所窓口にて回収

回収締切日：令和7年9月26日（金）

③調査項目

- 回答者の属性（性別、年齢、職業、居住地域、所有している運転免許、免許返納の予定）
- 普段の外出での交通手段、満足度
- 町内のバス等、タクシー、フェリーの利用実態、満足度等
- 令和7年4月の公共交通体系の見直しについて
- 本町の公共交通全般について

(3) 調査票の回収状況

- 配布件数 3,223件
- 有効票 1,091件 [郵送回収1,004件、WEB回収87件]
- 回収率 33.9%

(4) 本報告書の数値の取り扱い等

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率は全て、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2つの選択肢を集約した場合（「大変満足」と「やや満足」を合計した『満足』など）は、当該選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

2 集計結果

(質問1) 回答者の属性

①性別 (1つに○)

○回答者の性別は、「女性」が57.4%、「男性」が40.4%となっている。

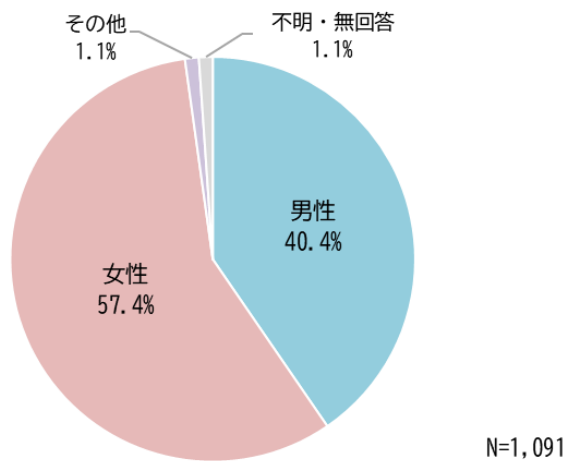


図1 性別

②年齢 (1つに○)

○回答者の年齢は、「70代」が34.7%で最も多く、以下「80歳以上」(29.6%)、「60代」(18.6%)と続いている。

○60歳以上をまとめると約82.9%、また70歳以上では約64.3%であり、高齢者が多くの割合を占めている。

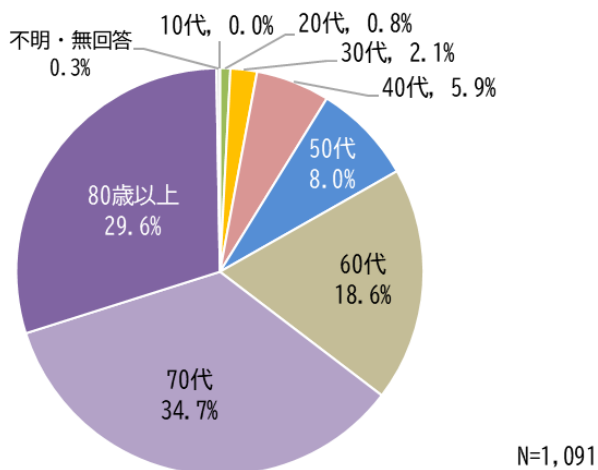


図2 年齢

③職業（主なもの1つに○）

○回答者の職業は、「無職」が44.6%で最も多く、以下「会社員・公務員」(15.1%)、「専業主婦」(12.7%)、「自営業・自由業」(11.9%)と続いている。

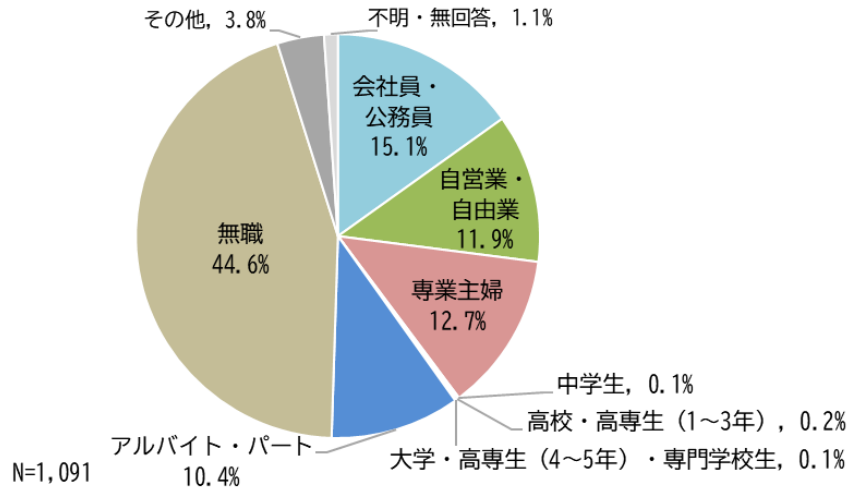


図 3 職業

④居住地区（1つに○）

○回答者の居住地区は、「中野」が33.2%で最も多く、次いで「東野」(27.9%)、「木江」(10.4%)となっている。

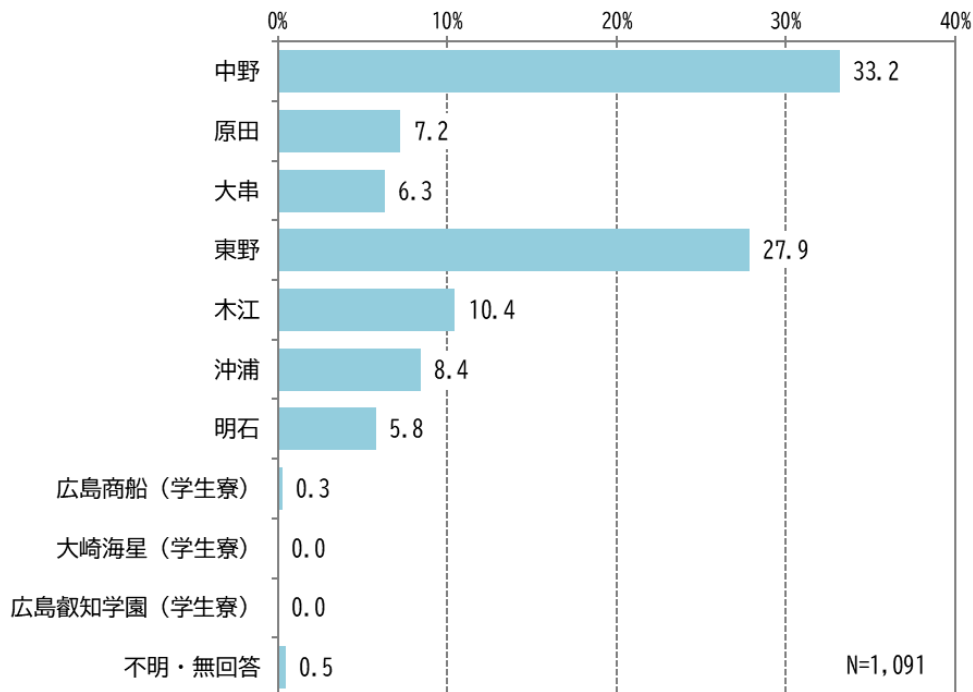


図 4 居住地区

⑤運転免許の保有状況（該当するもの全てに○）

○回答者の運転免許の保有状況は、「自動車運転免許あり」が79.6%で最も多く、「二輪」（12.6%）、「原付のみ」（3.3%）となっており、『免許保有』は81.6%である。

○年代別にみると、70代以下では約9割の回答者が免許を保有しており、80歳以上では5割の回答者が免許を保有している。

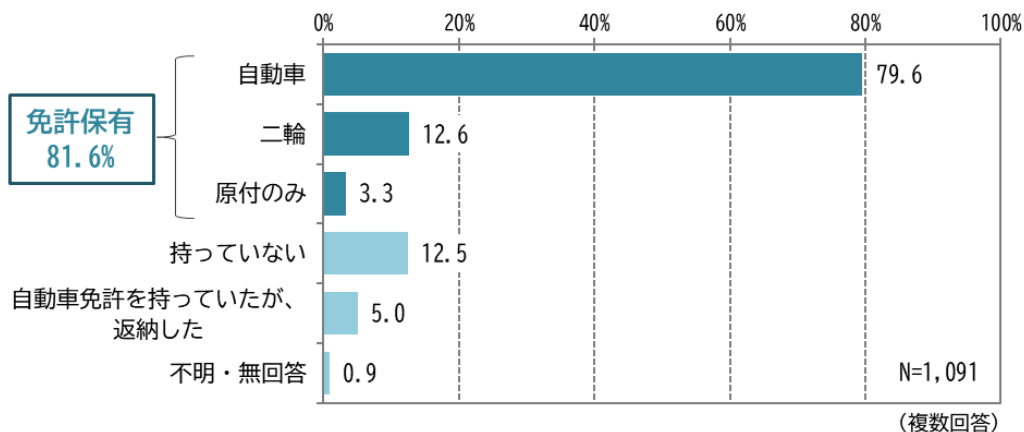


図 5 運転免許保有状況 [複数回答]

年代別

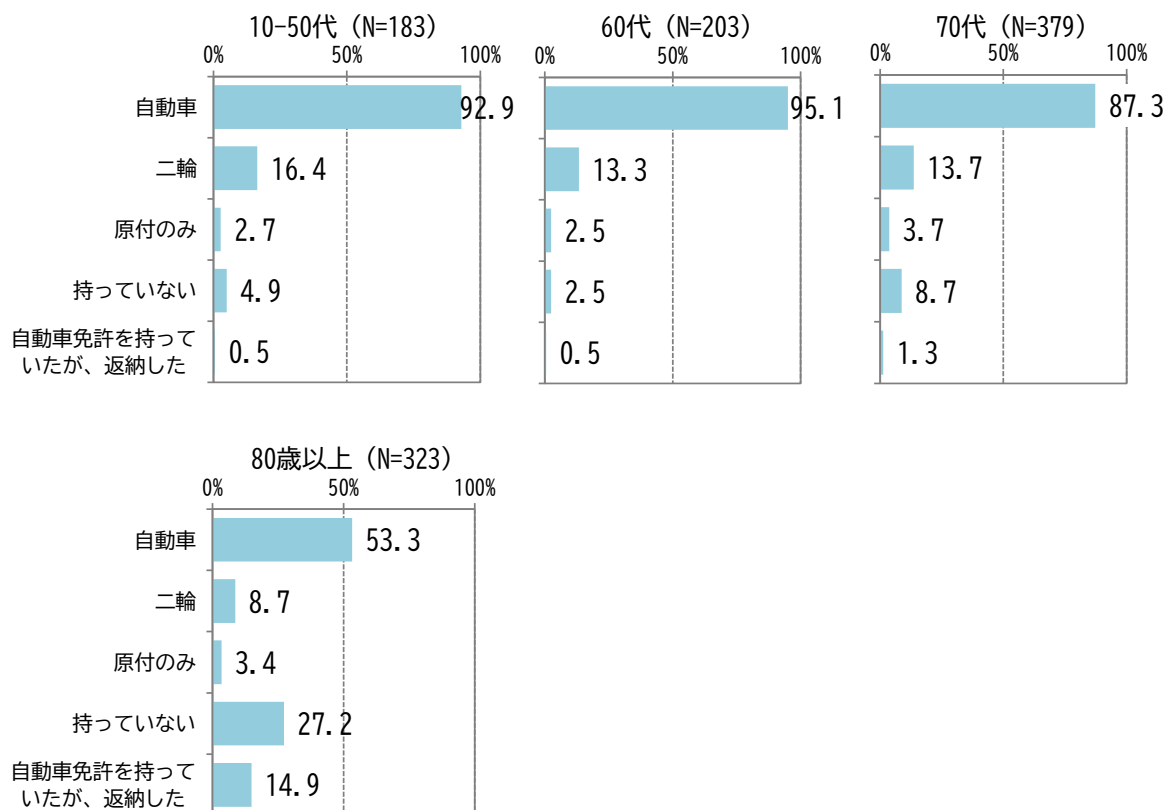


図 6 【年代別】運転免許保有状況 [複数回答]

⑥自動車運転免許返納の予定（1つに○）

○運転免許保有者の免許返納の予定は、「しばらく返納しない」が79.7%を占める。
 ○70代の回答者のうち9.4%、80歳以上の49.4%が、5年のうちに免許を返納する予定であると回答している。

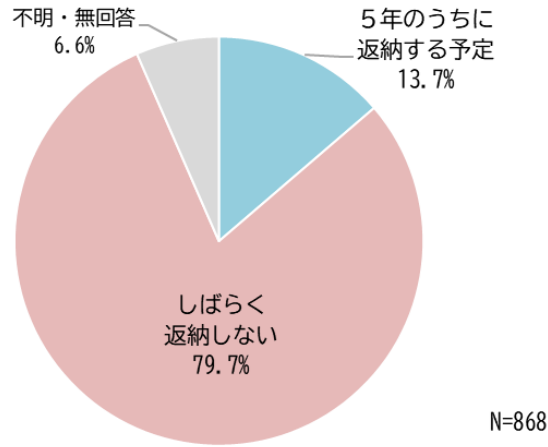


図 7 免許返納の予定<自動車運転免許を保有している人のみ>

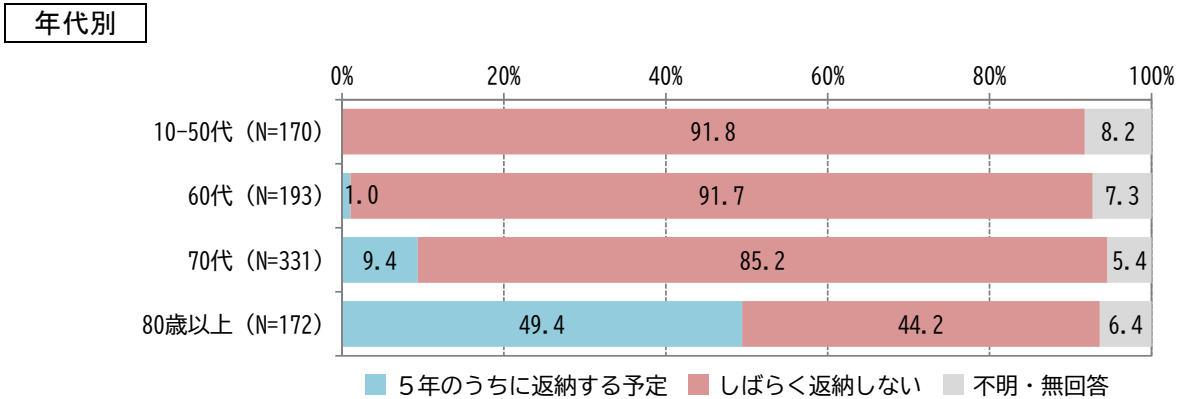


図 8 【年代別】免許返納の予定<自動車運転免許を保有している人のみ>

(質問2) 普段の生活交通について

①あなたは普段、自動車(自家用車)を利用していますか。(該当するもの全てに○)

○普段の自動車の利用状況としては、「自分で運転する」が78.5%と最も多く、続いて「家族や知人に送迎してもらえる」が17.5%である。一方、「普段の暮らしで自動車を利用しない」と回答したのは5.9%であった。

○60代以下では90%以上、70代では86.3%、80歳以上では52.9%の回答者が普段自動車を自分で運転している。

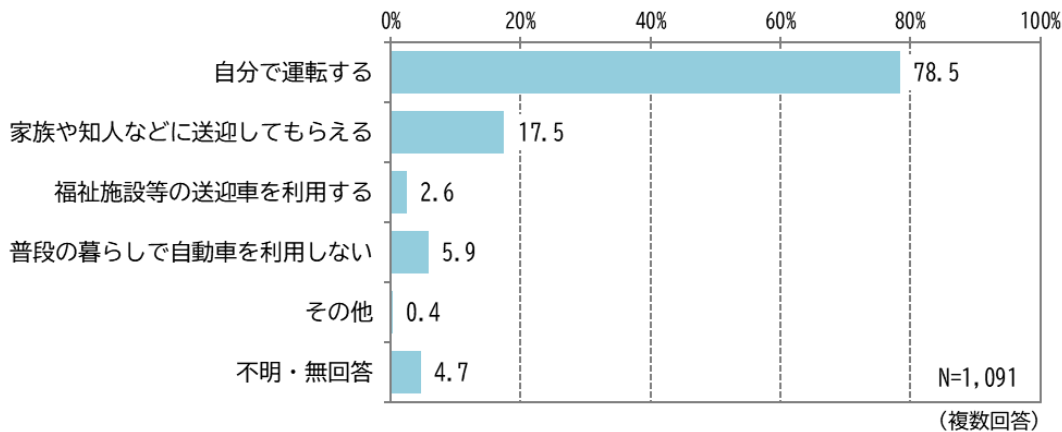


図9 普段の自動車利用状況 [複数回答]

年代別

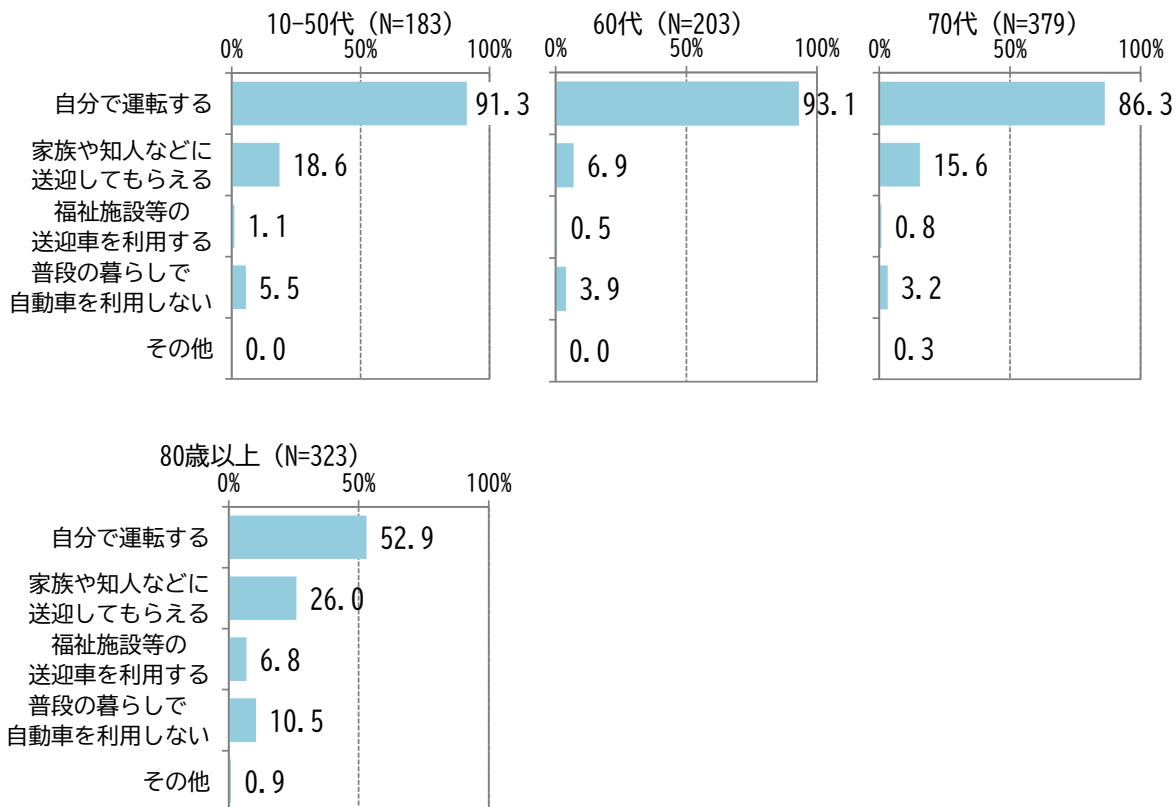


図10 【年代別】 普段の自動車利用状況 [複数回答]

②普段、買物や通院などで、よく利用する島内の交通手段は何ですか。(主なもの2つまでに○)
 ※お店や病院が島外の場合は港までの交通手段

○よく利用する交通手段として「車（自分で運転）」(76.7%)の割合が極めて高い。

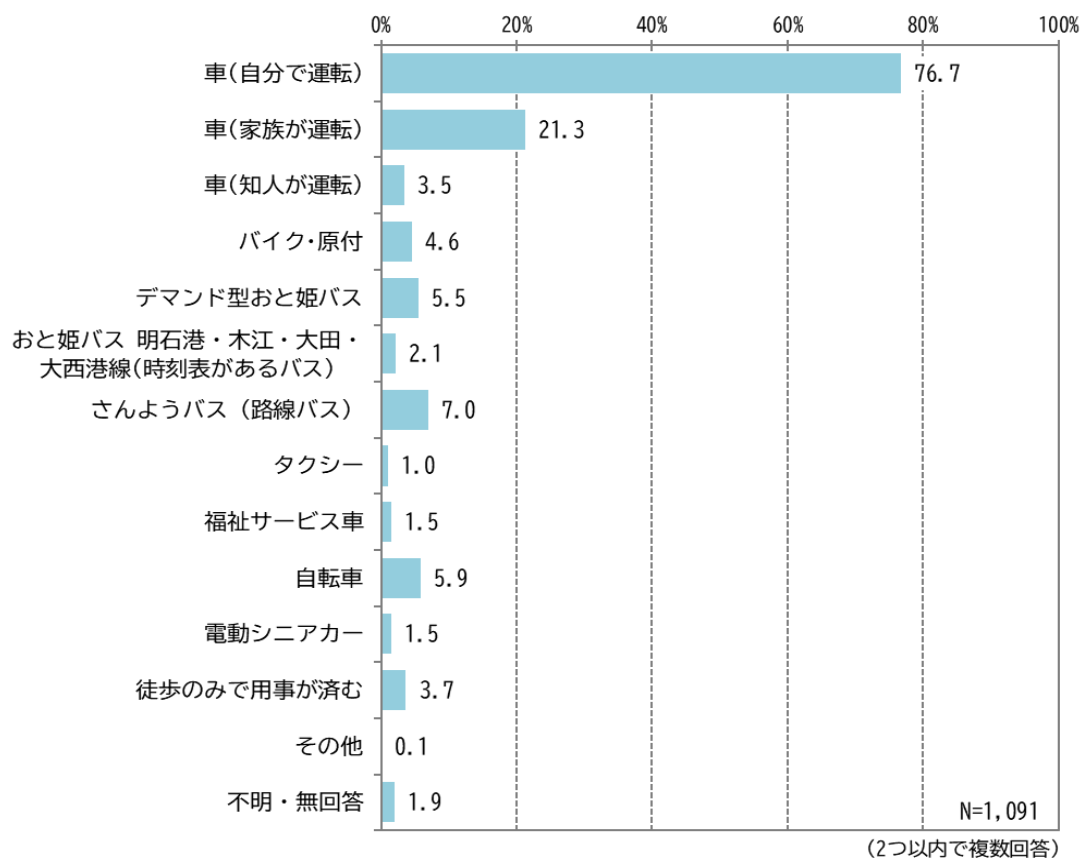


図 11 島内の交通手段 [2つ以内で複数回答]

③それらの交通手段に満足していますか。(1つに○)

○普段の交通手段についての満足度は「満足」が70.8%で最も多く、『不満』(「少し不満」と「とても不満」の合計、以下同じ)は22.9%となっている。

○前回調査と比較して、「少し不満」が3.5ポイント、「とても不満」が1.0ポイント増加している。

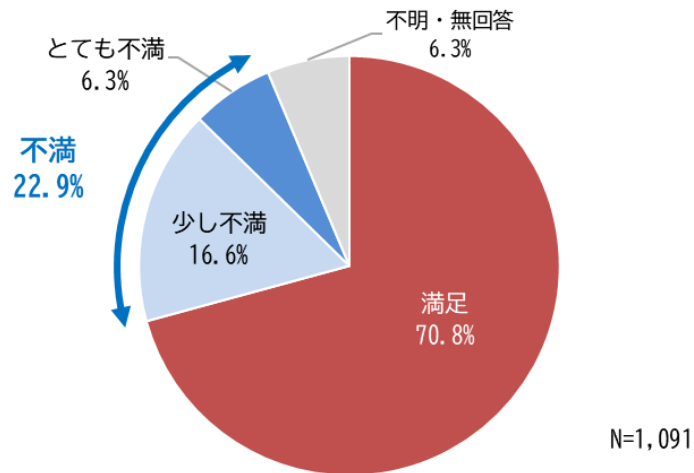


図 12 交通手段の満足度

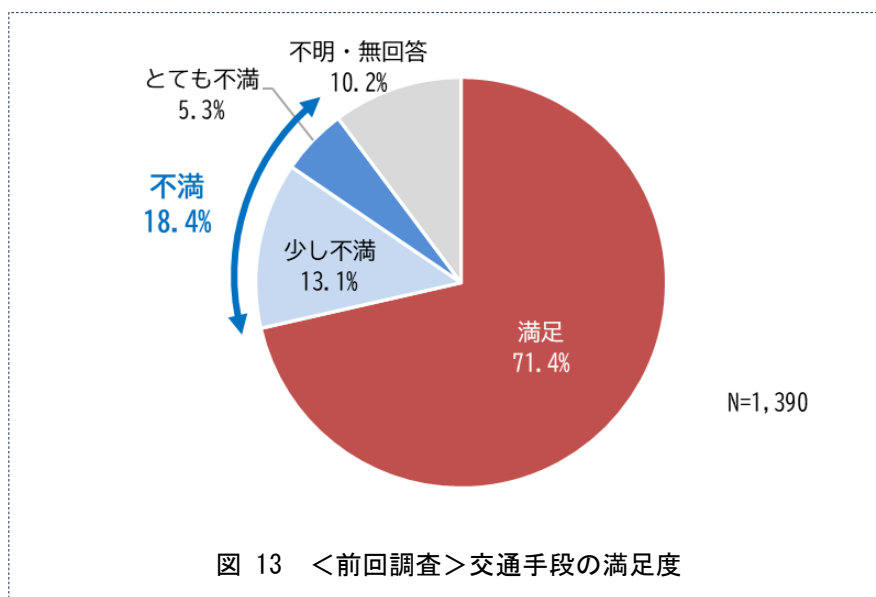


図 13 <前回調査>交通手段の満足度

○80歳以上の回答者は、35.0%が普段の交通手段に対して『不満』と回答している。

○よく利用する交通手段別では、自分または家族が運転する車、バイク・原付を利用する回答者の満足度が高い。

年代別

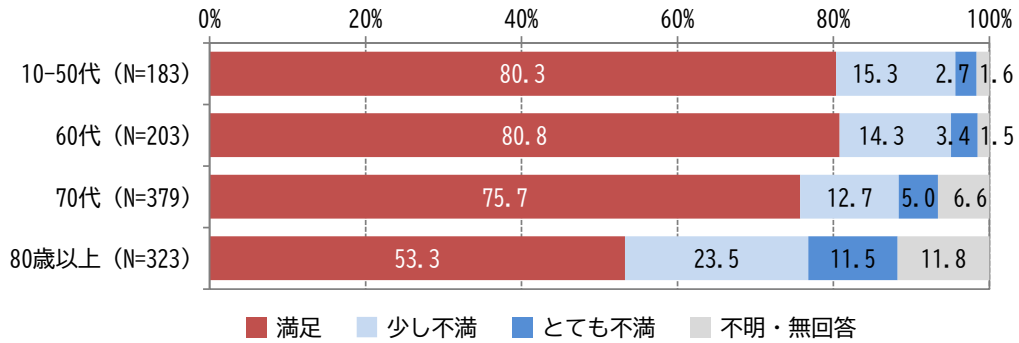


図 14 【年代別】交通手段の満足度

よく利用する交通手段別

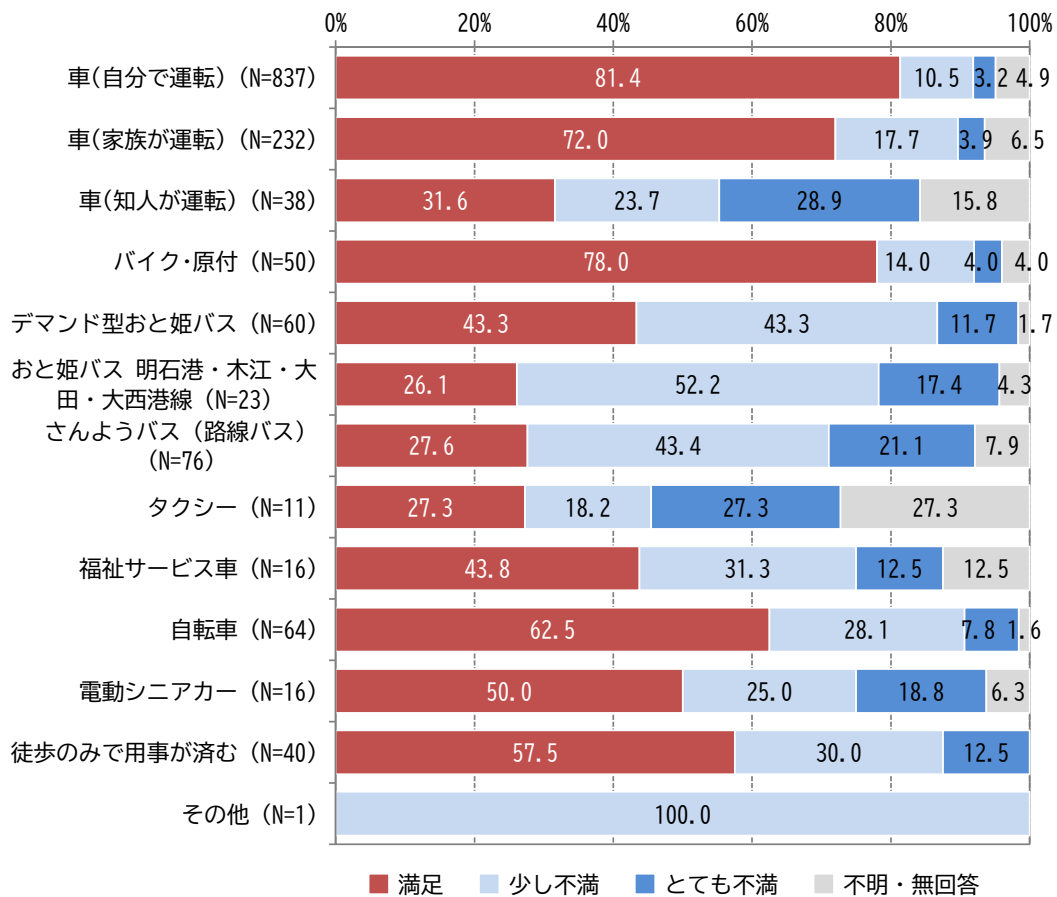


図 15 【よく利用する交通手段別】交通手段の満足度

④将来の外出時に利用する交通手段について、不安はありますか。(1つに○)

○将来の交通手段への不安は、『不安』(「少し不安」と「とても不安」の合計、以下同じ)が70.2%を占めている。一方、「不安は感じない」は13.7%となっている。

○年代別では、60代が最も『不安』と回答しており、76.4%であった。一方で、80歳以上の回答者で『不安』と回答したのは62.0%であった。

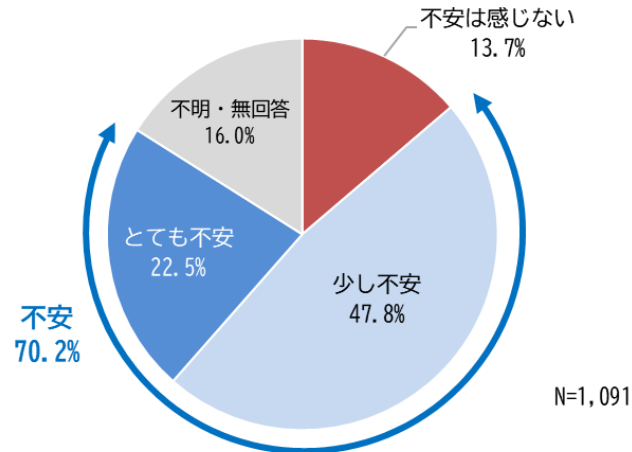


図 16 将来の交通手段への不安

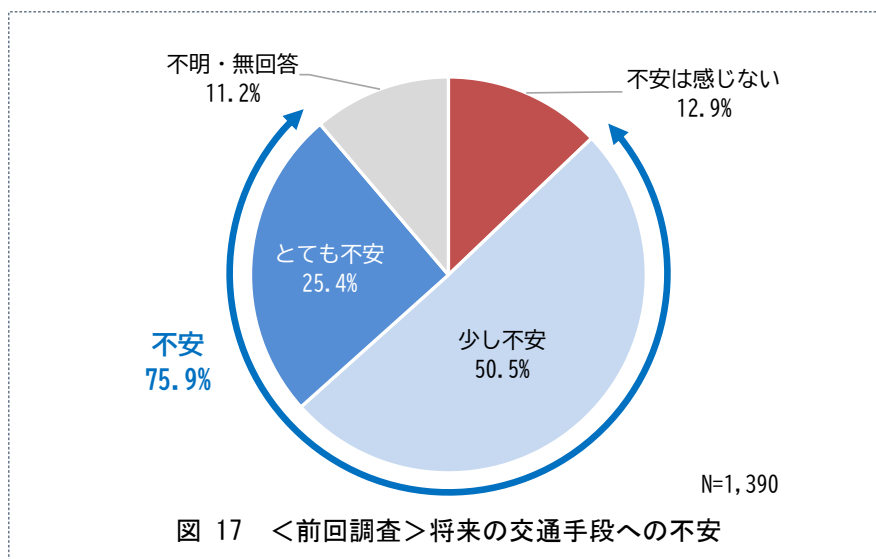


図 17 <前回調査> 将来の交通手段への不安

年代別

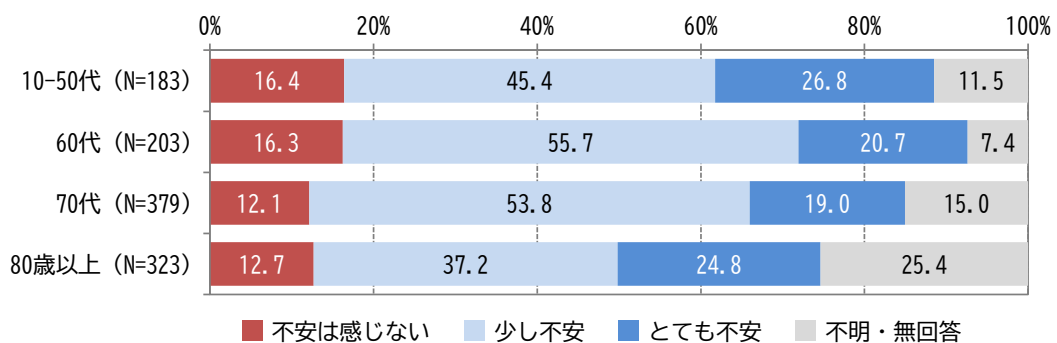


図 18 【年代別】 将来の交通手段への不安

(副問) ※④で「2. 少し不安」「3. とても不安」と回答された方にお聞きします。
どのような点が不安ですか？(3つまでに○)

○将来の交通手段について「不安」に感じている内容は、「高齢になり、自分で自動車が運転できなくなる事」が75.2%であり、次いで、「将来、バスや船などが減便、廃止されるかもしれないこと」が44.4%となっている。

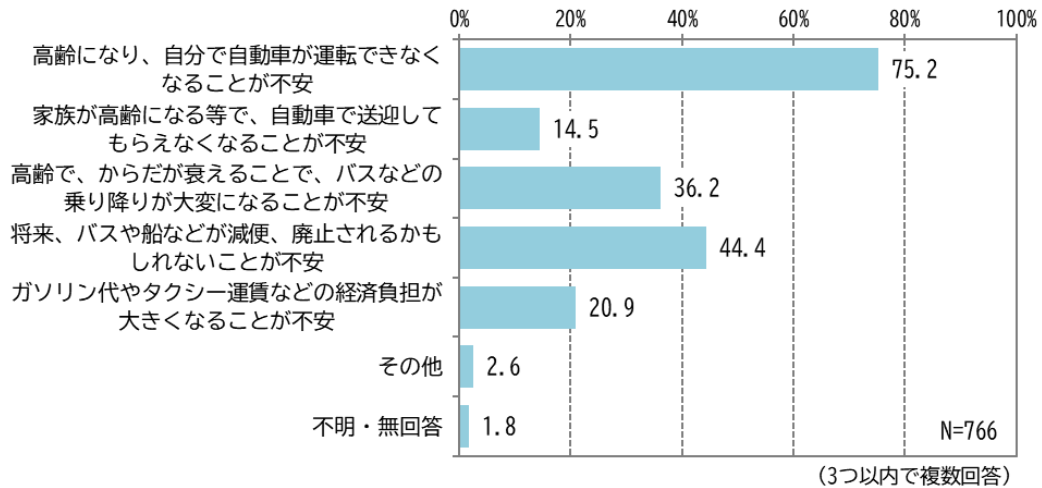


図 19 将来の交通手段について不安に感じる内容 [3つ以内で複数回答]

(質問3) 本町の公共交通のご利用について

①本町で走る3つの「バス」の利用について

ア) 町の「バス」を利用されますか？(該当するもの全てに○)

○町の「バス」において、いずれかを利用する回答者は25.2%であり、「いずれも利用しない」方が過半数を占めている。

○80歳以上の回答者が最もバスの利用率が高く、37.5%がいずれかのバスを利用している。

○普段の暮らしで自動車を利用しない回答者の6割以上はいずれかのバスを利用している。

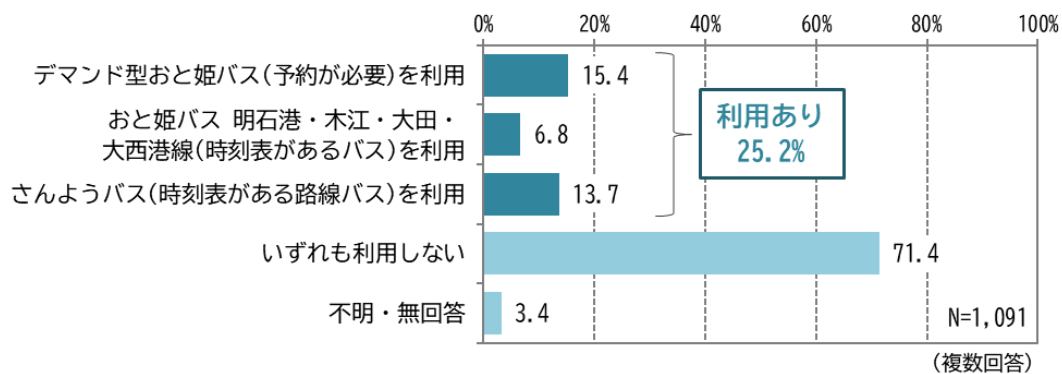


図 20 町の「バス」の利用状況 [複数回答]

年代別

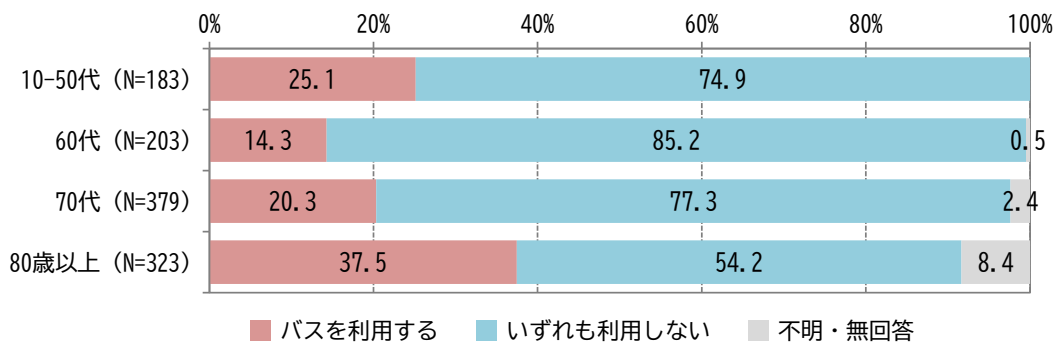


図 21 【年代別】町の「バス」の利用状況 [複数回答]

自動車の利用状況別

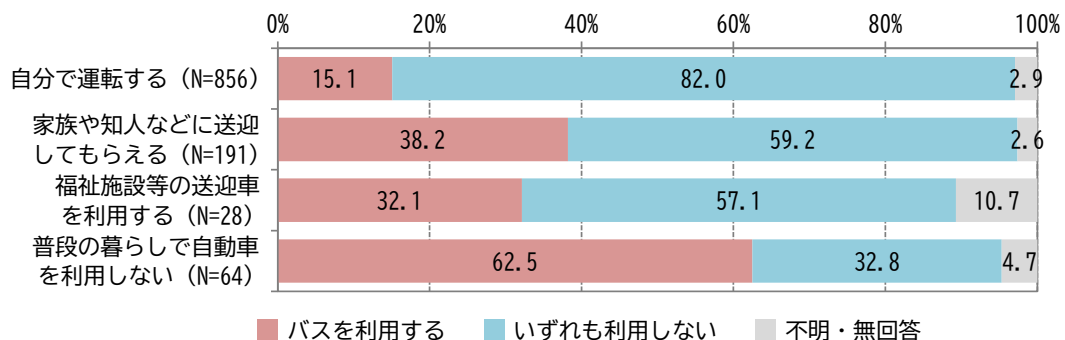


図 22 【自動車の利用状況別】町の「バス」の利用状況 [複数回答]

イ) 町の「バス」を利用する日数は？（1つに○）

○町の「バス」の利用頻度は、「年に数日程度」が32.4%で最も多い。次いで「月に2～3日」が19.6%となっている。

○週1日以上利用する回答者は、21.5%であった。

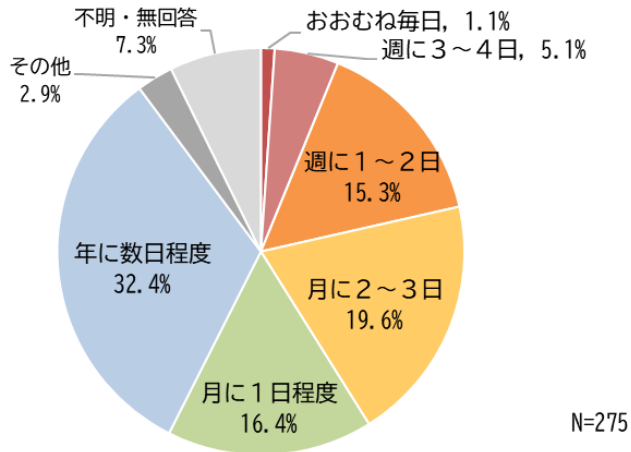


図 23 町の「バス」の利用頻度

ウ) 主な利用目的は？（該当するもの全てに○）

○主な利用目的は、「通院」が49.1%で最も多く、以下「買物」(34.5%)、「趣味・娯楽」(17.5%)、「公共施設・金融機関の利用」(10.2%)と続いている。

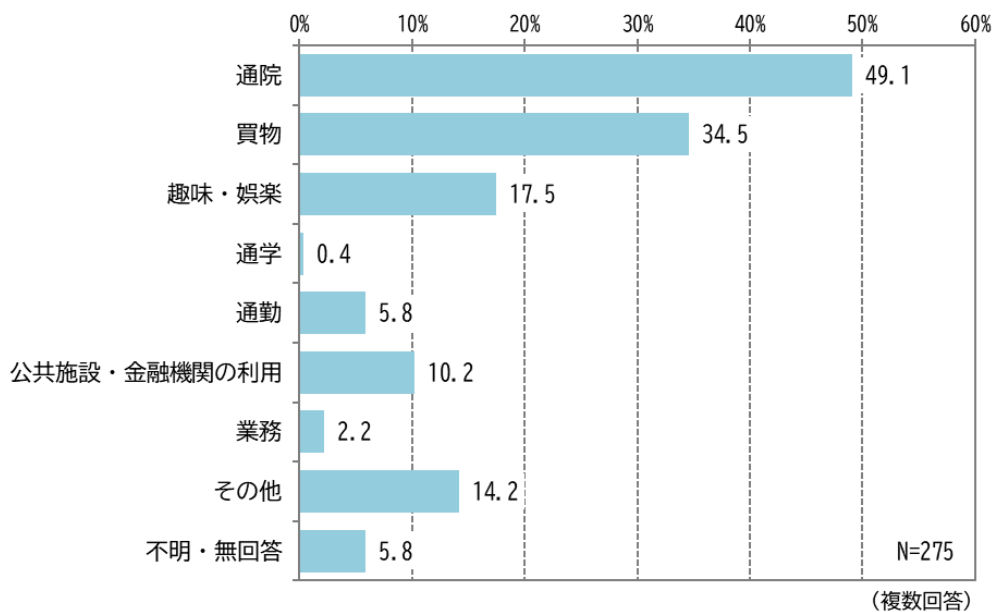


図 24 町の「バス」の主な利用目的 [複数回答]

○利用するバス別にみると、全ての手段で「通院」「買物」の順となっている。

バスの利用状況別

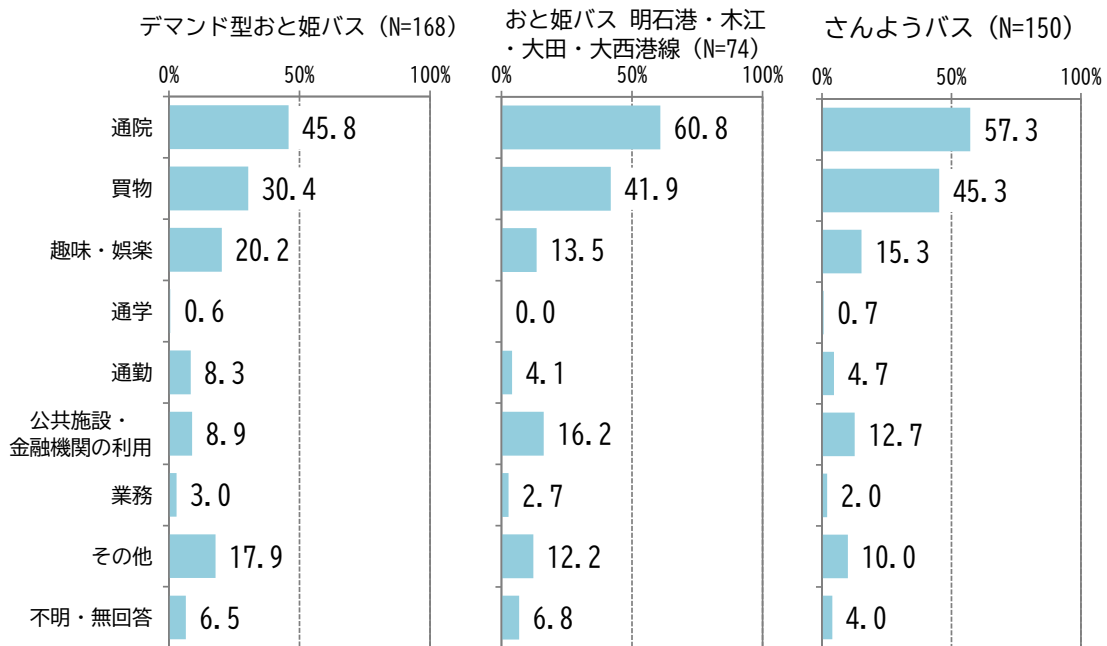


図 25 【バスの利用状況別】町の「バス」の主な利用目的〔複数回答〕

エ) 町の「バス」の満足度は？（それぞれの選択肢1つに○）

○デマンド型おと姫バスの『満足』（「とても満足」と「まあ満足」の合計、以下同じ）は43.6%、『不満』は24.4%である。

○おと姫バス（明石港・木江・大田・大西港線）の『満足』は25.5%、『不満』は17.1%である。

○さんようバスの『満足』は37.8%、『不満』は26.2%である。

○3つの路線共に、『満足』の割合が『不満』を上回っている。

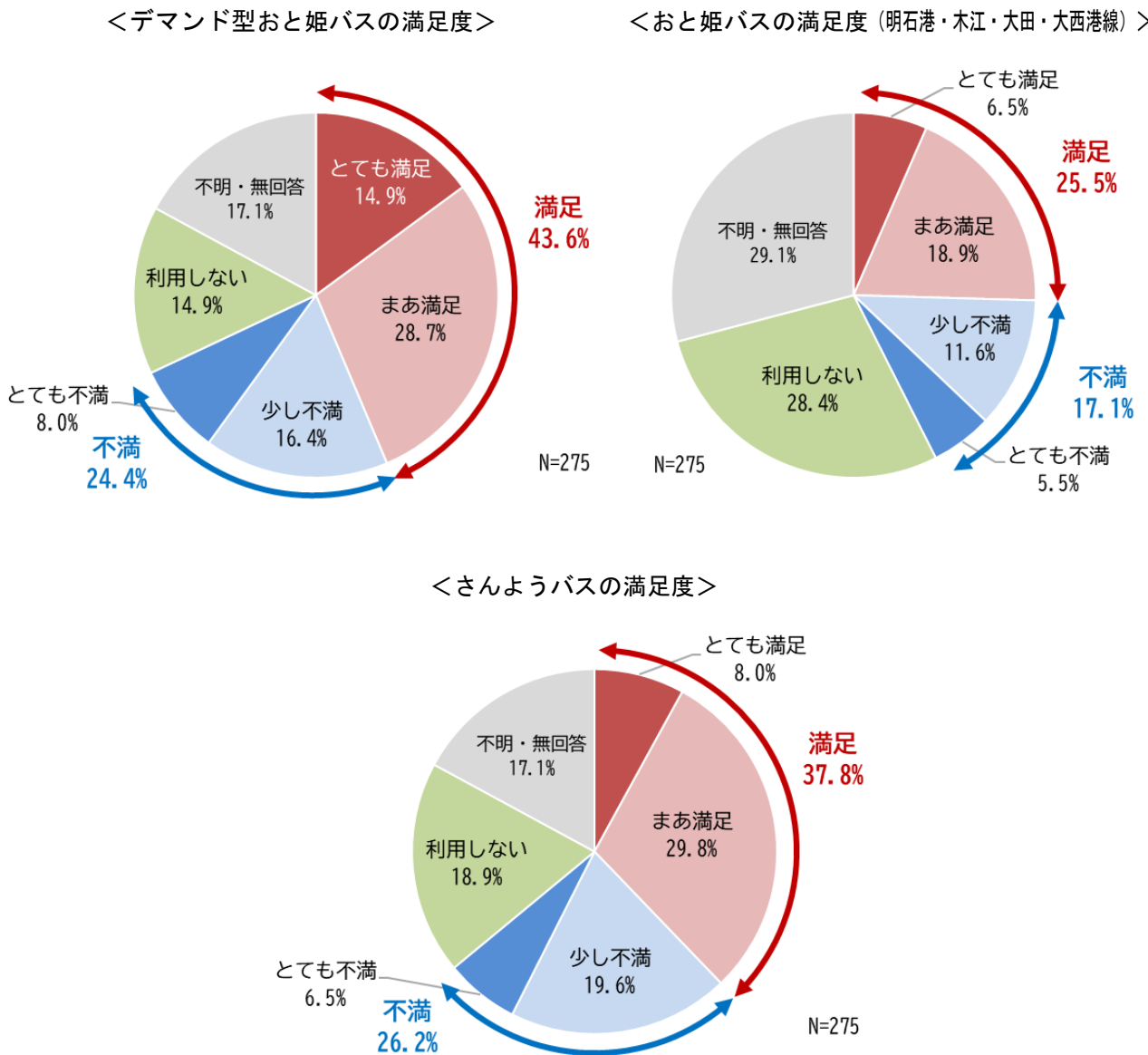
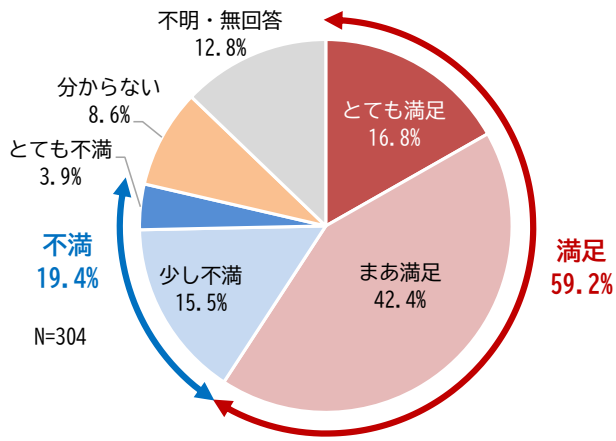


図 26 町の「バス」の満足度

<おと姫バスの満足度（明石港・木江・大田・大西港線）>



<さんようバスの満足度>

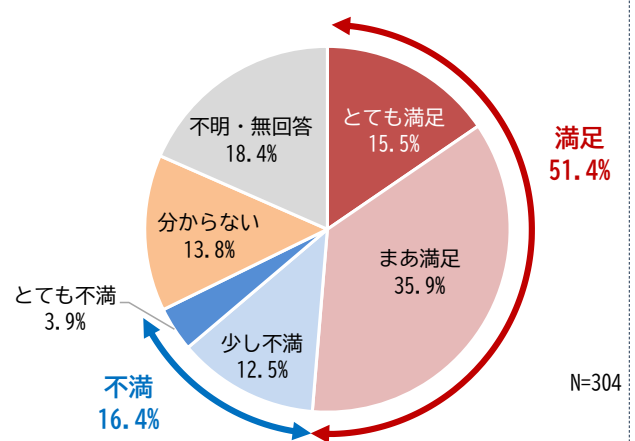


図 27 <前回調査>町の「バス」の満足度

オ) 町の「バス」を不満に思うことは？（該当するもの全てに○）

○町の「バス」への不満で最も多いのは「フェリーとバスとの接続が不満」で31.3%であった。以下、「デマンド型の利用者が多くて予約がとれない」（28.7%）、「ルートやダイヤが不満」（26.5%）と続いている。

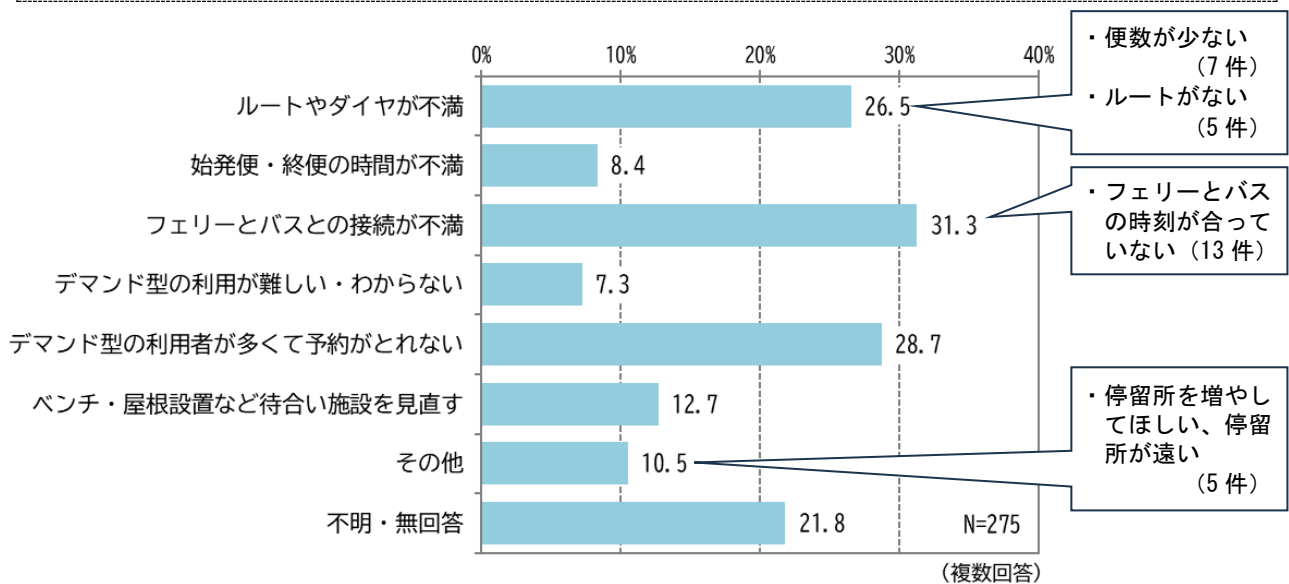


図 28 町の「バス」への不満 [複数回答]

表 1 町の「バス」への具体的な内容 (自由記述)

() 数字はのべ件数

ルートやダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・便数が少ない(7)・バスとフェリーとの連絡が良くない(3)・ルートがない(5)・時刻表がわかりにくい(2)・利用したい時間に便がない(3)・目的地へのルートが大回り(2) ・乗換が複雑・港への直行便がない(3)・土日祝日に運行がない(2) ・乗り場がわかりにくい/ダイヤ変更が多い/明石港での停止時間が長い/目的地近くに停留所がない/利用者のニーズに合っていない/ダイヤが不満 (具体記述なし) (各1)
始発便・終便の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリー終便からのバスがない(4)・フェリー始発便へのバスがない(3)・バス終便の時間が早い (22 時まで、時間記述なし) (2)・バス始発便の時間が遅い (6 時から) (1)
フェリーとバスとの接続	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリー時刻とバス時刻が合っていない(13)・白水港と垂水港の間のバスがない(2) ・フェリー始発便へのバスがない(3) ・かぐや姫号と合わない/土日祝日の便がない/フェリー始発便・終便とのバス接続がない/白水港での接続が良くない/垂水港での接続が良くない/港からバス停が遠い/高速船がなくなったのが不便/収入を上げる努力をしていない (各1)
デマンド型の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・予約が難しい(2) ・スマホを所有していない/急な利用に対応できない (1)
待合い施設	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて(2) ・向山消防格納庫 (10 番) /東原下集会所 (45 番) /ときや前 (96 番) に屋根希望/沖浦農協 (さんようバス) /広島観智学園前 (30 番) /大串農協 (29 番) /大串定住促進住宅 (118 番) /雨天の場合 (各1)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・停留所を増やしてほしい、停留所が遠い(5)・女性運転手の態度が良くない(3) ・中野→東野の途中での停止時間が長い (さんようバス) /現金のみの支配方法が不便/定路線でなく自宅発着オンデマンドバス希望/家族の送迎がないと予約不可のとき困る/帰り時間が未定でデマンド型は利用しにくい/定時バスが1本(時間)はほしい/音声案内がない/周辺交通状況から危ないバス停がある/意見は財源のことも踏まえて言うべき/デマンド型の予約開始日を早くしてほしい/排気ガスがひどい/乗降口が高くて乗りにくい/時間によりデマンド型の台数が少ない (各1)

(副問) ※ア) で「4. いずれも利用しない」と回答された方にお聞きします。
町の「バス」を利用していない理由は何ですか？(該当するもの全てに○)

○町の「バス」を利用しない理由は、「自動車・バイクを運転する」が88.3%で最も多く、次いで「家族や知人が送迎してくれる」(23.5%)となっている。

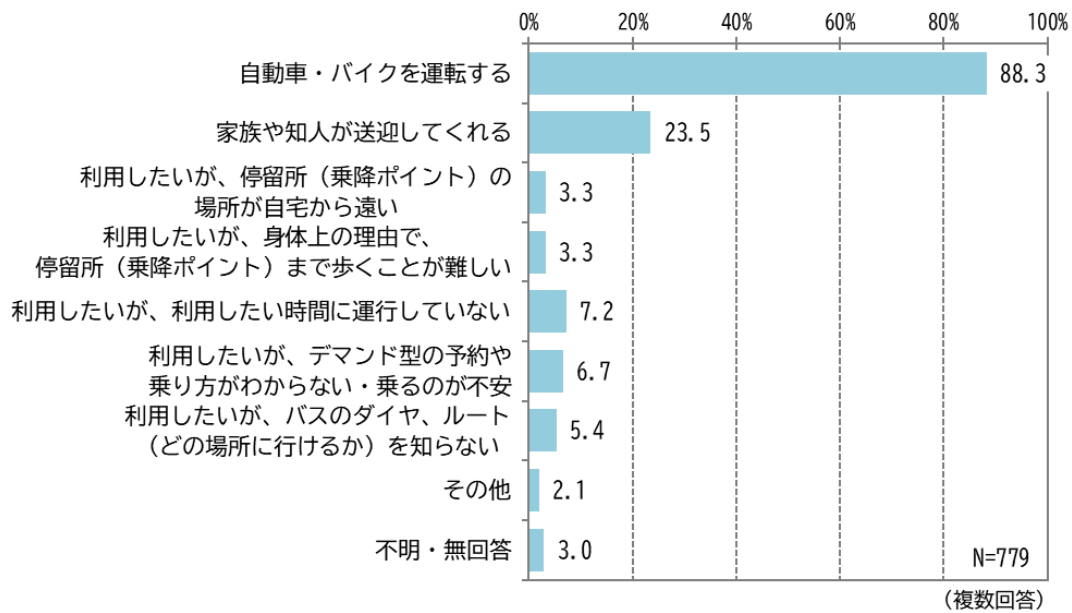


図 29 町の「バス」を利用しない理由 [複数回答]

②町内の「タクシー」の利用について

ア) 町内で「タクシー」を利用する日数は？ (1つに○)

○「タクシー」の利用頻度は、「タクシーを利用しない」が68.9%で最も多い。次いで「年に数日程度」が4.2%となっている。

○週1日以上利用する回答者は、0.3%にとどまる。

○前回調査と比較して、「タクシーを利用しない」と回答した割合は4.4ポイント増加している。

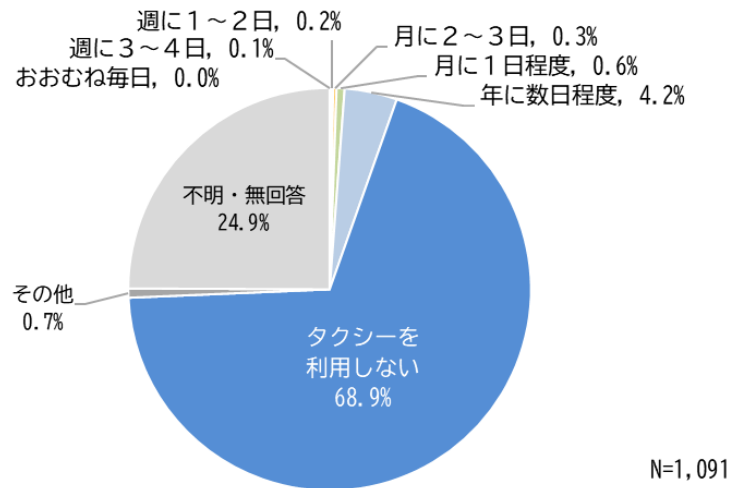


図 30 町内の「タクシー」の利用頻度

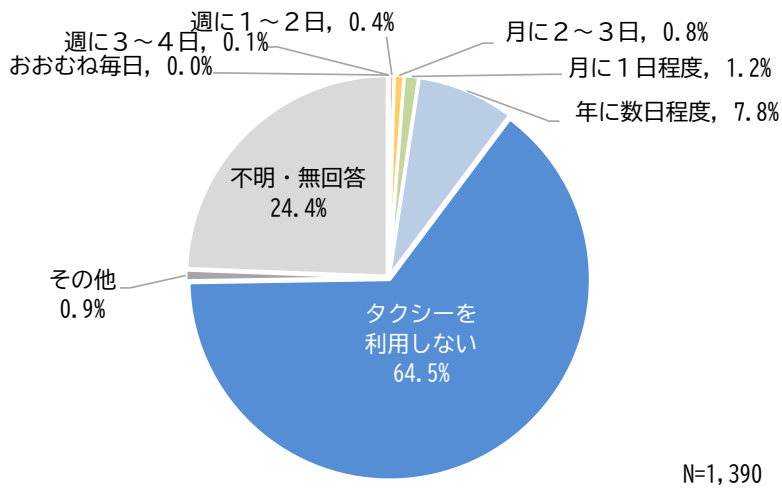


図 31 <前回調査>町内の「タクシー」の利用頻度

○年代が上がるにつれ、利用頻度は増加する傾向にある。

○自動車の利用状況別では、「福祉施設等の送迎車を利用する」回答者のタクシー利用が最も多く、年に数日以上が28.6%であった。

年代別

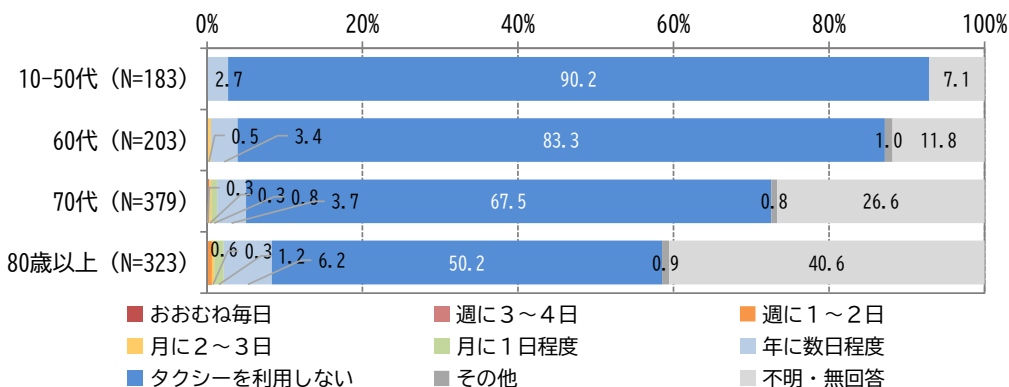


図 32 【年代別】町内の「タクシー」の利用頻度

自動車の利用状況別

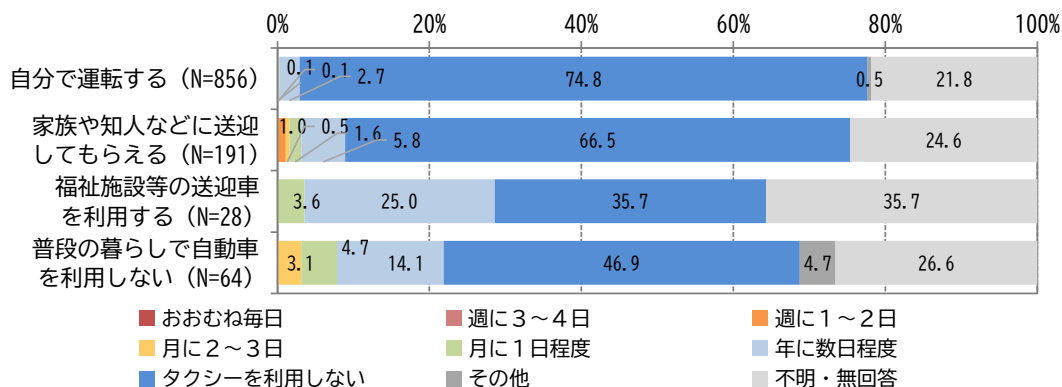


図 33 【自動車の利用状況別】町内の「タクシー」の利用頻度

イ) 主な利用目的は？（該当するもの全てに○）

○主な利用目的は、「通院」が43.3%で最も多く、以下「買物」（19.4%）、「公共施設・金融機関の利用」（11.9%）と続いている。

○「その他」の具体的な内容は、自家用車を利用できないとき、フェリーの帰港地が異なったときなどとなっている。

○前回と比較して、「通院」「趣味・娯楽」の割合が減少し、「買物」の割合が増加している。

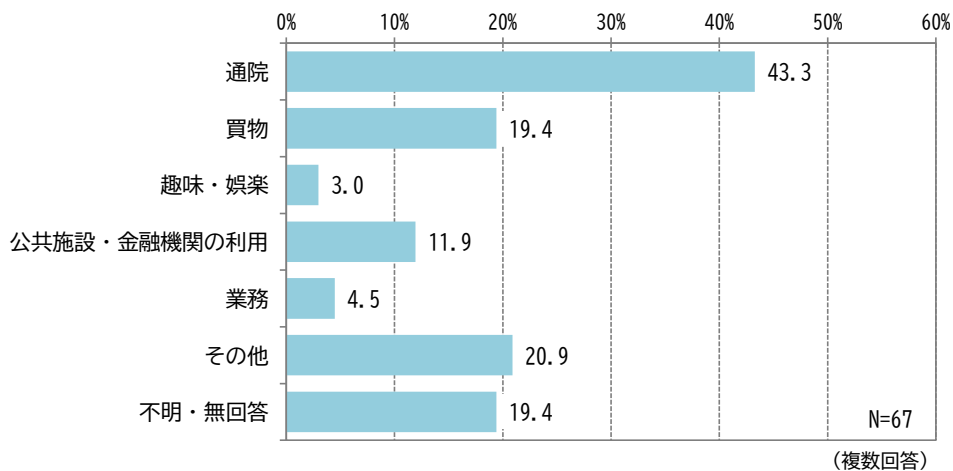


図 34 町内の「タクシー」の主な利用目的 [複数回答]

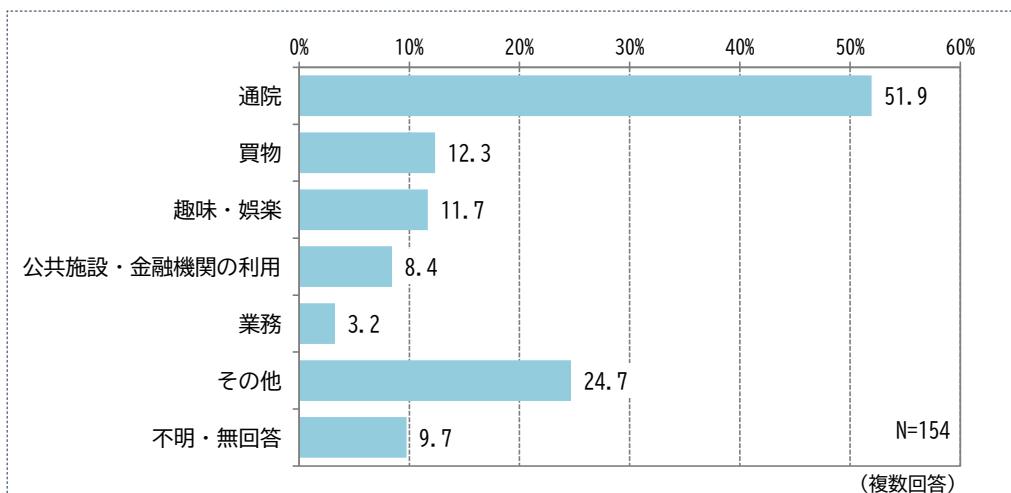


図 35 <前回調査>町内の「タクシー」の主な利用目的 [複数回答]

ウ) ご意見があればお書きください

表 2 町内の「タクシー」への意見（自由記述）

() 数字はのべ件数

- ・料金が安い(3)
- ・台数を増やしてほしい(2)
- ・利用可能な時間帯を長くしてほしい(2)
- ・電話が繋がらない/朝夕の利用は期待できない/乗務員の対応が良い (各1)

③大崎上島から町外への「フェリー」の利用について

ア)「フェリー」を利用する日数は？(1つに○)

○「フェリー」の利用頻度は、「月に2～3日」が36.2%で最も多い。次いで「月に1日程度」が25.4%となっている。

○週1日以上利用する回答者は、12.8%である。

○前回調査と比較して、やや利用頻度が増加している。

○年代別では、年代が上がるにつれ、利用頻度が減少している。

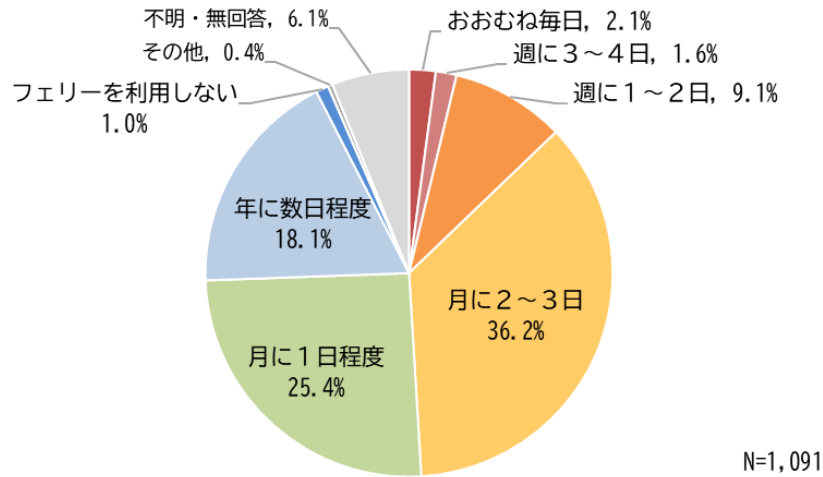


図 36 「フェリー」の利用頻度

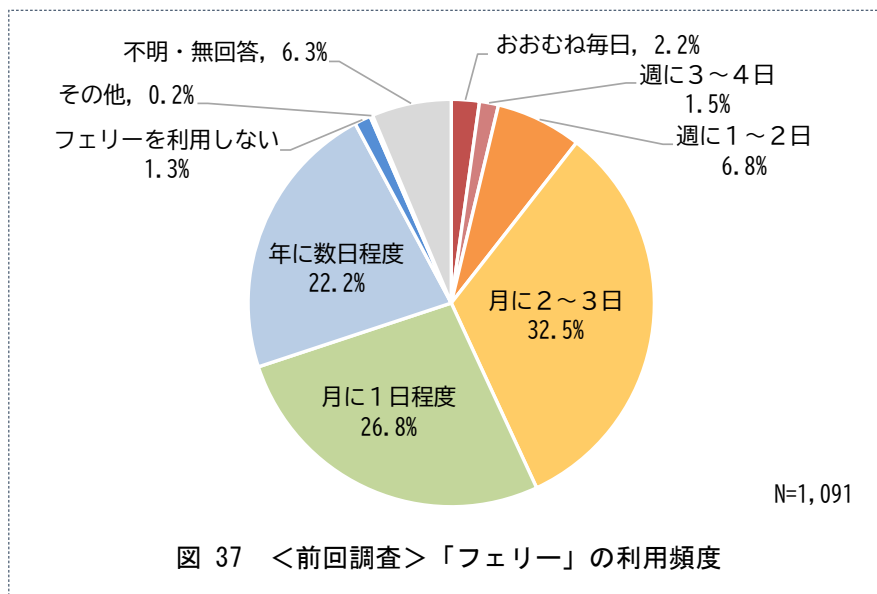


図 37 <前回調査>「フェリー」の利用頻度

年代別

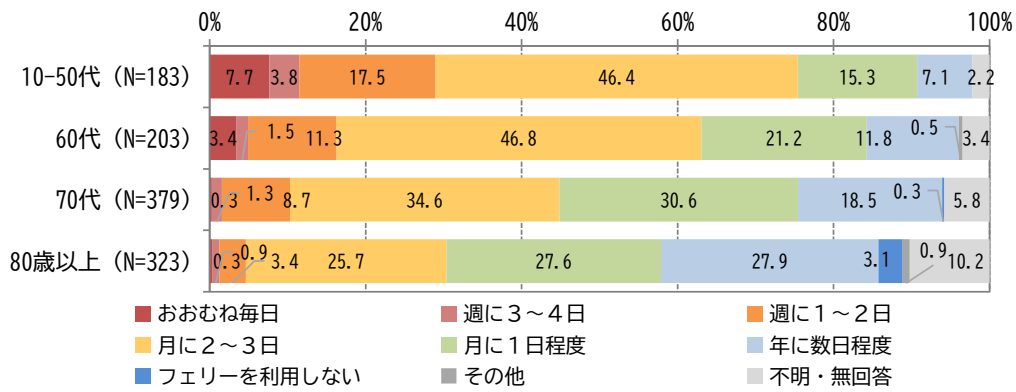


図 38 【年代別】「フェリー」の利用頻度

イ) 主に利用される大崎上島の港は？（最も多い1つに○）

○「フェリー」利用時に使う大崎上島の港は、「白水港」が50.3%で最も多い。次いで「垂水港」が22.0%、「大西港」が20.2%となっている。

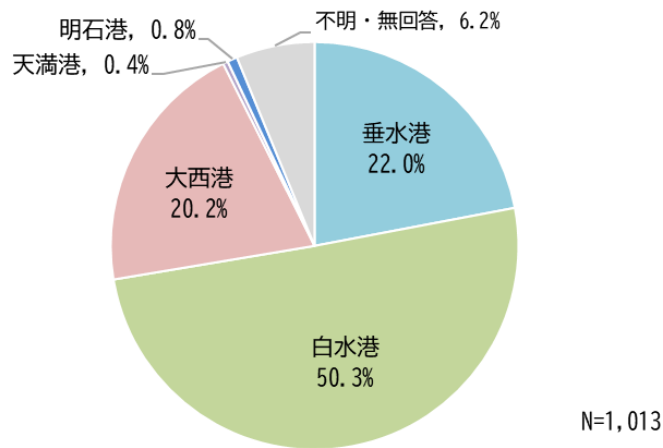


図 39 「フェリー」利用時に使う大崎上島の港

ウ) 主な利用目的は？（該当するもの全てに○）

○主な利用目的は、「通院」が69.6%で最も多く、以下「買物」（45.9%）、「趣味・娯楽」（28.3%）と続いている。

○前回調査と比較して、「趣味・娯楽」が7.8ポイント増加している。

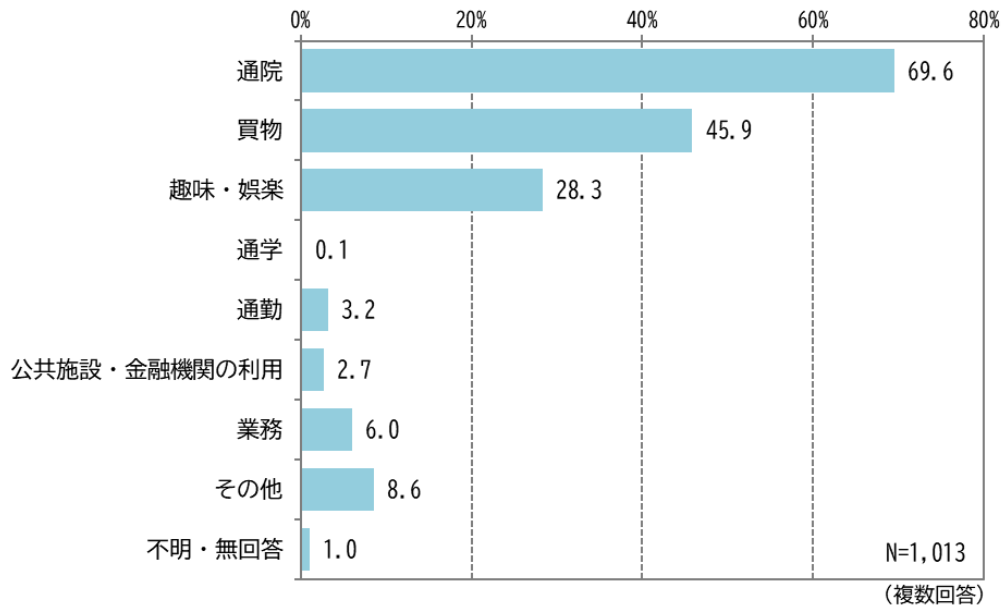


図 40 「フェリー」の主な利用目的 [複数回答]

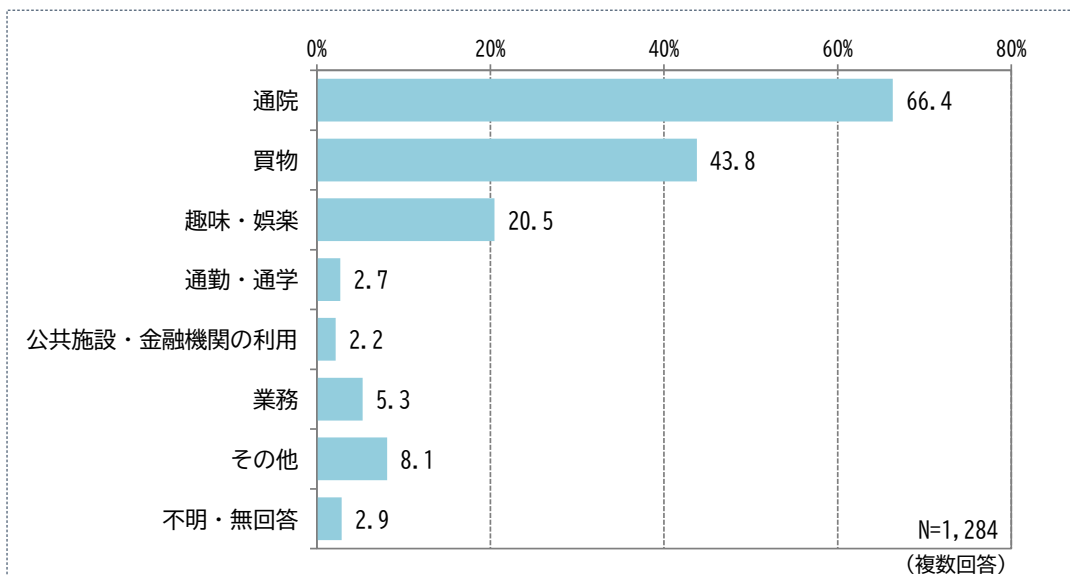


図 41 <前回調査> 「フェリー」の主な利用目的 [複数回答]

○年代が上がるごとに「通院」の割合は増加しており、「買物」「趣味・娯楽」の割合が減少している。

年代別

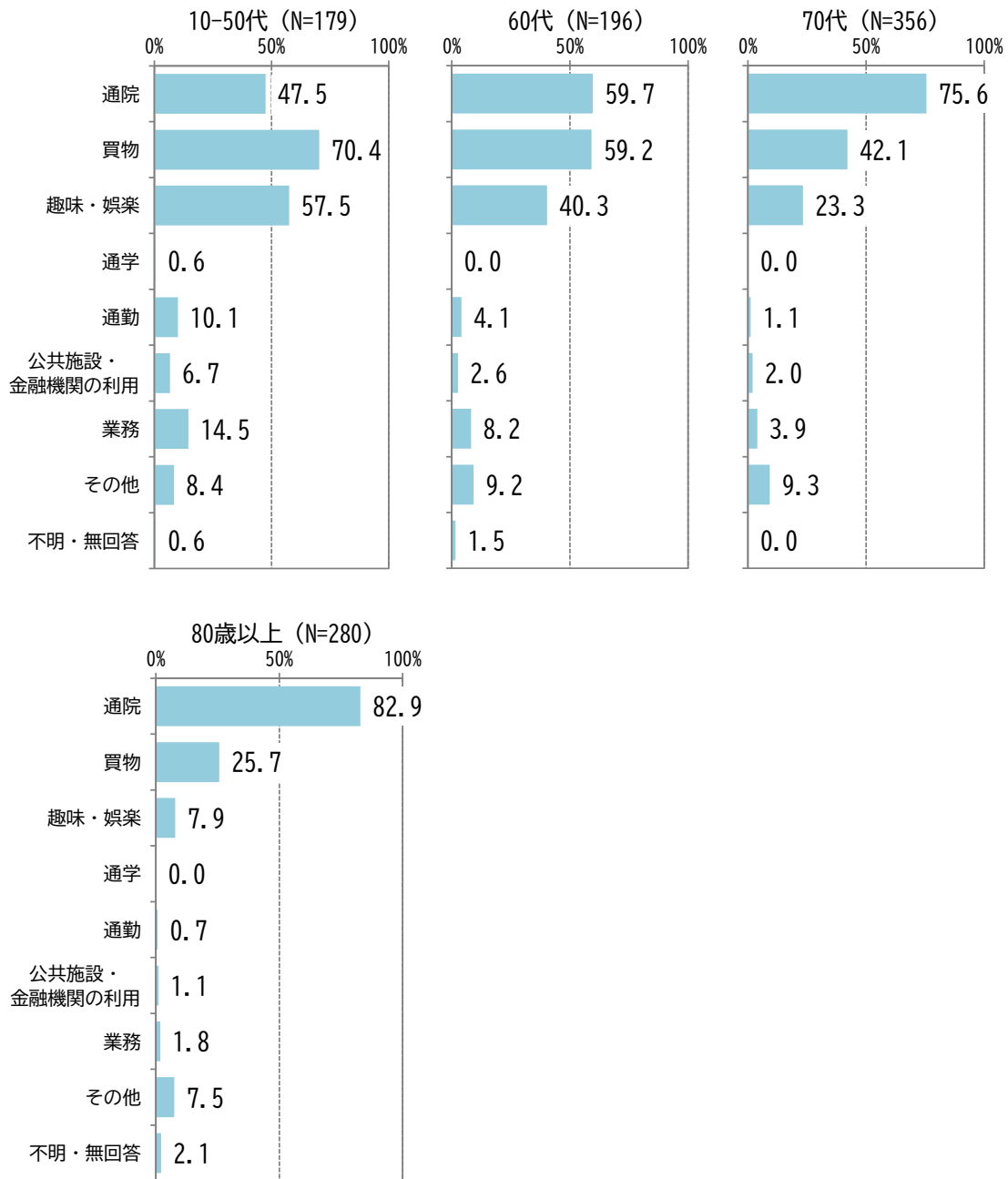


図 42 【年代別】「フェリー」の主な利用目的 [複数回答]

エ)「フェリー」の満足度は？(1つに○)

○「フェリー」の満足度は、『満足』は61.8%、『不満』は33.0%であり、満足が不満を大きく上回っている。

○前回調査と比較して、『満足』は6.1ポイント、『不満』は2.7ポイント増加している。

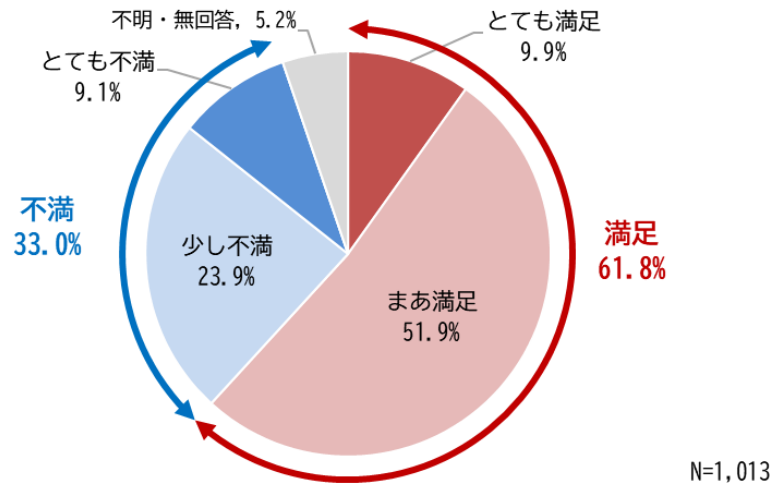


図 43 「フェリー」の満足度

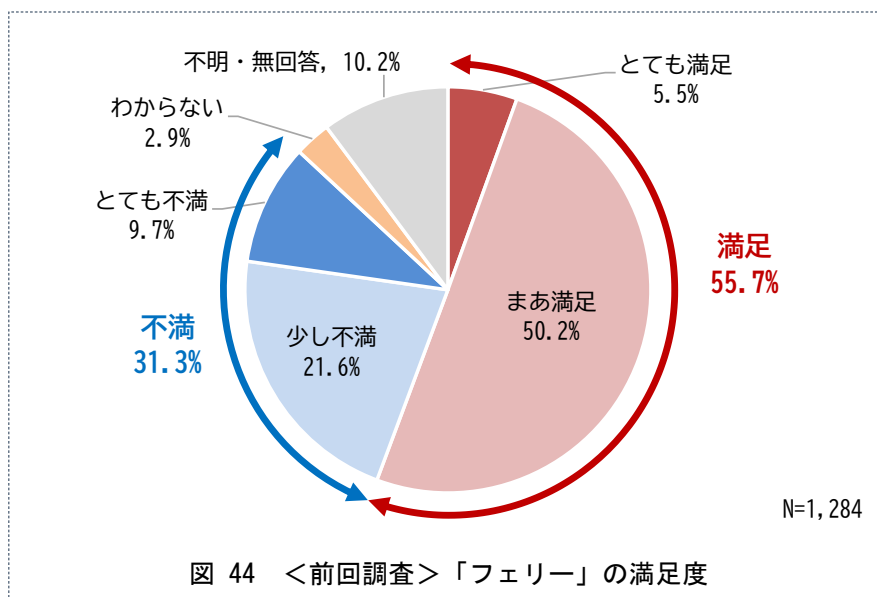


図 44 <前回調査>「フェリー」の満足度

オ)「フェリー」を不満に思うことは？(該当するもの全てに○)

○「フェリー」への不満で最も多いのは「料金が不満」の42.6%であり、選択肢において突出している。

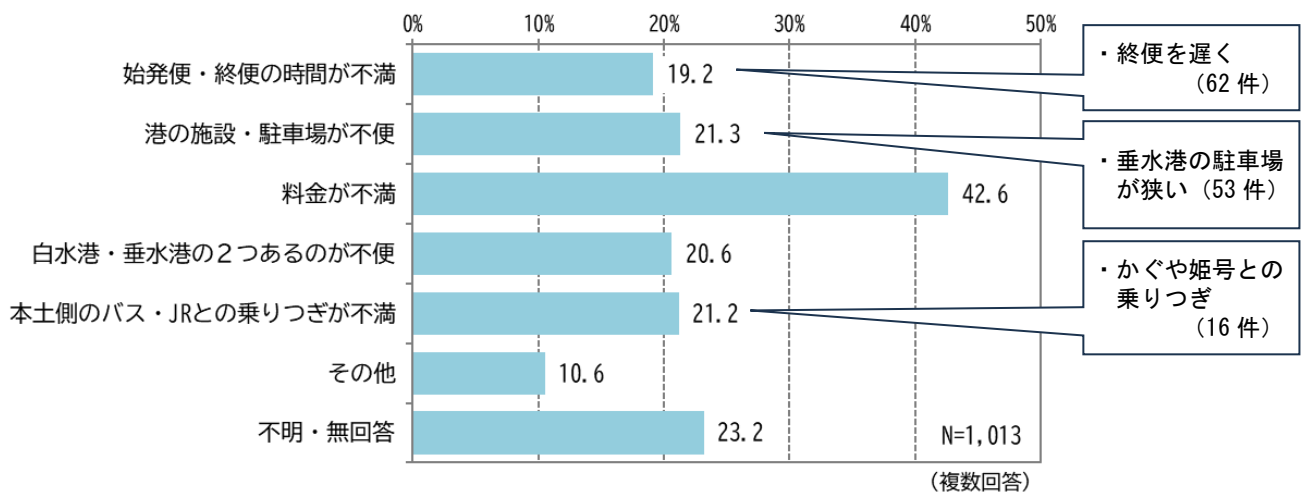


図 45 「フェリー」への不満 [複数回答]

表 3 「フェリー」への具体的な内容 (自由記述) [1/2]

() 数字はのべ件数

始発便・終便の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・終便を遅く (具体時間なし) (62) ・終便を 22 時台に (17) ・始発便を早く (具体時間なし) (15) ・始発便を 5 時台に (10) ・かぐや姫号から間に合う終便がほしい (5) ・終便を 23 時台に (5) ・安芸津航路の終便を遅く (4) ・かぐや姫号の始発に合わせてほしい / 大西港の終便を遅く / 深夜・未明にも運行してほしい / 19 時台の便を増便してほしい (各 2) ・土日祝日の始発便を早く / 飛行機に間に合う始発便がほしい / 土日祝日の終便を早く / 終便を 20:30 頃に / 竹原発の終便を遅く / 飛行機から間に合う終便がほしい / 積み残しがあると帰れなくなる / バスと連携していない / 今治便の時間帯が良くない / 増便してほしい / フェリー時間以外の意見 (各 1)
港の施設・駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・垂水港 (具体内容なし) (53) ・垂水港 - 駐車場が狭い (53) ・竹原港 - 切符売り場が遠い (5) ・竹原港 (具体記述なし) (5) ・垂水港 - トイレ (4) ・竹原港 - 無料の駐車場がない・値上げ (3) ・安芸津港 (具体的記述なし) (3) ・駐車場不足 (港の記述なし) (3) ・垂水港 - 止めっぱなしの車がある / 大西港 (具体記述なし) / 大西港 - 駐車場が狭い / 安芸津港 - 無料の駐車場がない / 切符売り場が遠い (港の記述なし) / 施設・駐車場以外の意見 (各 2) ・大西港 - 止めっぱなしの車がある / 白水港 (具体記述なし) / 白水港 - 駐車場が狭い / 白水港 - トイレ / 白水港 - 駐車場に白線がない / 竹原港 - 駐車場 (具体記述なし) / 安芸津港 - 待合にテレビがない / 木江港 (天満港) (具体的記述なし) / すべて不足 (港の記述なし) / トイレ不足 (港の記述なし) / 車を降りて乗船券を買うのが不便 / 港に売店等が少ない / 積み残しがある時に使えない (各 1)
本土側との乗りつぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・かぐや姫号との乗りつぎ (16) ・バス・JR の乗りつぎ (具体記述なし) (15) ・竹原港から駅へのバスとの乗りつぎ (9) ・バスとの乗りつぎ (港の記述なし) (9) ・JR 安芸津駅での乗りつぎ (9) ・JR 竹原駅での乗りつぎ (7) ・JR との乗りつぎ (港の記述なし) (5) ・竹原港と竹原駅のアクセスが良くない (4) ・空港行相乗りタクシーとの乗りつぎ / 安芸津駅からのバスとの乗りつぎ / バス・JR の乗りつぎ以外の意見 (各 2) ・空港方面との乗りつぎ (手段記述なし) / フェリー始発便と JR の乗りつぎ / 竹原以外から広島方面へのアクセスが良くない / バスの終便との乗りつぎ / 白水港からのバスとの乗りつぎ / 垂水港からのバスとの乗りつぎ / 小長港からのバスとの乗りつぎ / 竹原港 (具体記述なし) / 安芸津港 (具体記述なし) (各 1)

表 4 「フェリー」への具体的な内容（自由記述）[2/2]

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバールームに不満（古い、狭い、カーテンがない、場所がわかりづらい）(9) ・トイレに不満（温水便座がない、汚い、使いにくい、古い、バリアフリーでない）(7) ・昼の便数が少ない(6)・乗船時間が長い・スピードが遅い(6) ・便により積み残しが発生する(5)・白水港と垂水港の両方に寄ってほしい(5) ・便数が少ない(4)・時間帯により白水港と垂水港の発着便数に偏りがある(4) ・船舶が古い(4)・高齢者が利用しにくい（乗船時、階段）(3)・車・バス降車客が目の前に見えても待ってくれない(3) ・島内のバスとの乗りつき/竹原便と安芸津便の変更・共通化ができない/通院時の割引がほしい/車両運賃が高い/運賃が高い/座席が狭い・少ない（各2） ・大西港からの便数が少ない/朝夜の便数が少ない/19時台の便がない（白水便）/かぐや姫号との乗りつき/JRとの乗りつき/白水港と垂水港のどちらでも乗り降りOKにしてほしい/白水港と垂水港とを結ぶバスの便が不便/白水往復で垂水着の場合、返金がない/船員が不親切（垂水）/島民割引が少ない/前売り券の払い戻しができない/往復便の改札が面倒/駐車場に置きっぱなしの車が多いのでは/どこの港でも利用可の往復券がほしい/現金のみでの支払いが不便/欠航時の宿泊費補助がほしい/割引チケットの購入がしにくい/利用者のことを考えない値上げ/大西・東野の切符を共通化してほしい/乗船券の期限をなくしてほしい/往復切符の追加料金がややこしい/おむつ替えスペースがない/長期駐車できる預入先がほしい/本土側の駐車場補助を町でしてほしい/駐輪場でのマイマイガの発生/船内がカビ臭い（垂水便）/客が受付せずに乗る/乗船時の副流煙が迷惑/学生の乗り方が変/繁忙期に出航が遅延する/雨の日の改札時に濡れる/欠航が多い/欠航時の連絡（防災無線）が遅い/外出時にフェリーの時間を気に掛ける必要がある/ゴミ箱がない・座席にごみ放置/意見は財源のことも踏まえて言うべき（各1）
------------	--

(質問4) 令和7年4月の公共交通見直しについて

① 4月より、従来の(時刻表に従う)おと姫バスを大幅に削減し、その分、デマンド型の運行台数を増やしました。この見直しについての感想を教えてください。(1つに○)

- 4月に行った公共交通の見直しに関して、最も多かったのは「見直したことを知らない」で30.9%であった。
- 「良くなった」は15.9%であり、「悪くなった」の7.7%を上回っている。
- 年代別では、年齢が上がるほど「良くなった」と回答する割合が減少し、「悪くなった」と回答する割合が増加している。

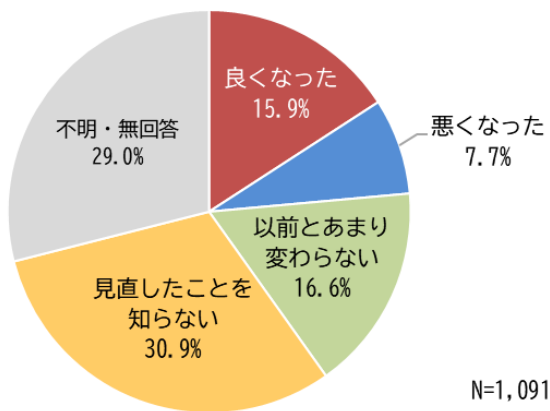


図 46 公共交通見直しの感想

年代別

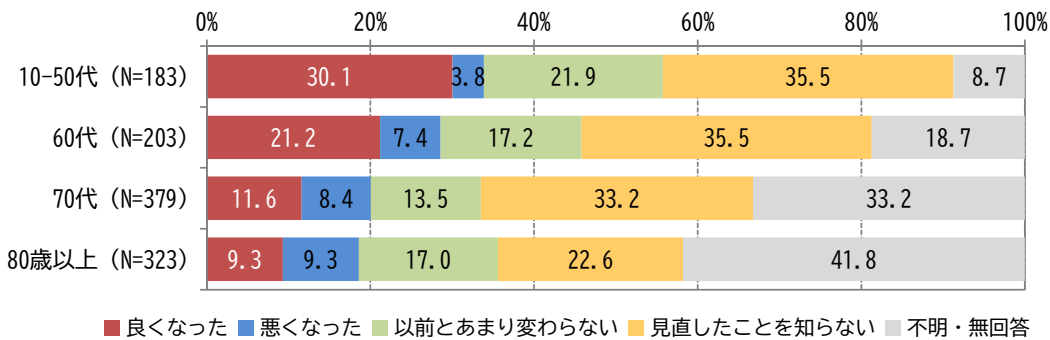


図 47 【年代別】公共交通見直しの感想

○デマンド型おと姫バスを利用している回答者の 38.1%が「良くなった」と回答している。

バスの利用状況別

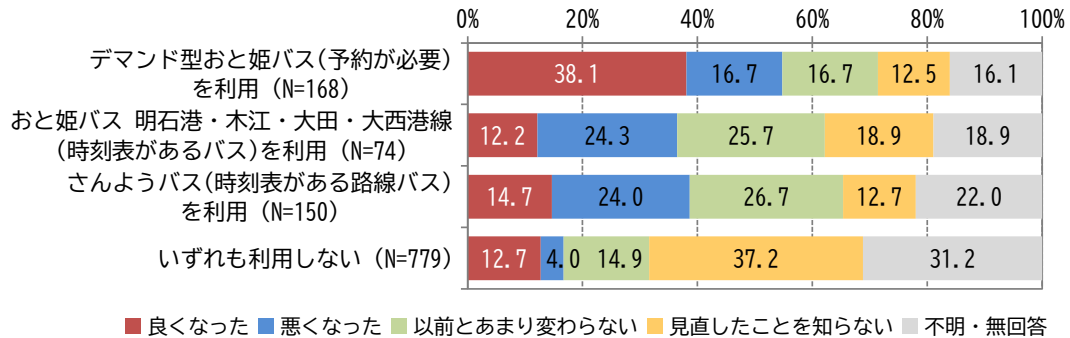


図 48 【バスの利用状況別】公共交通見直しの感想

表 5 公共交通見直しで「良くなった」と思う理由（自由記述）

() 数字はの件数

全般	・便利になった/便利になったと聞く(24)・無駄な運行・空運行が減った(12)・学生にとって便利になった(5)・利用者が増えた(4)・需給バランスが取れるようになった(3)
デマンド型	・デマンド型は好きな時間に利用でき便利(33) ・デマンド型の予約が取りやすくなった(17)・停留所が多くなって便利(8)・デマンド型の運行台数が増えて便利(6)・デマンド型は待ち時間がないのが良い(5)・デマンド型は利用時間が伸びたので良い(4)・路線バスより所要時間が短縮された(3) ・通院に便利になった/路線バスより小型になり利便性向上/土日祝日も運行しているのが良い/乗り降りが簡単/申込者の身内も利用できるのが良い/子どもが親の送迎なしで利用できる(各1)
要望	・デマンド型の運行台数をもっと増やして(3)・デマンド型は帰りが不便(2) ・デマンド型は利用に制限がある/デマンド型は値上げすべき/デマンド型のルート・停留所を増設して/路線バスはなくし、デマンド型のみが良い/デマンド型のアピールが弱い/デマンド型のルートに改善点がある/運賃先払いをわかりやすく明示してほしい/時間帯によりデマンド型の稼働台数が少ない/デマンド型は直前の予約ができない/デマンド型予約は高齢者に難しい/いつでも利用できるのか?/デマンド型の乗務員が良くない/将来にわたり継続してほしい(各1)

表 6 公共交通見直しで「悪くなった」と思う理由（自由記述）

() 数字はの件数

デマンド型	・デマンド型は予約が取りづらい・台数が足りない(23) ・デマンド型は予約時間とおりに来ない(4)・デマンド型は予約が面倒・難しい(9) ・デマンド型の土日予約が取れない(3) ・デマンド型は目的地まで時間がかかる/デマンド型の乗務員が良くない/デマンド型は急用時に利用できず不便/デマンド型はネットで予約可能な日時がわかれば良い/帰り時間が未定時はデマンド型は不便/デマンド型を一人利用時は値上げすべき(各1)
おと姫バス	・おと姫バスの減便が不便(12)・定時定路型おと姫バスが通らなくなり不便(7)・定時定路型おと姫バスが通らなくなり不便(7)
さんようバス	・土日祝日もさんようバスを運行してほしい(2)・さんようバスの減便が不便(1)
バス全般	・バスの減便が不便(9)・大型バスが減ったことが不満(1)
乗りつぎ	・フェリーとバスの連絡が良くない(4)
見直し全般	・医療機関への通院に不便になった(2)・以前の方が良かったと言っている人が多い(2) ・若者向けになって高齢者にとっては不便に/買物時に不便になった(各1)

② 4月に、おと姫バスの運賃を100円から200円（小人は50円から100円）へ値上げしました。この見直しにより、利用回数に変化はありましたか。（1つに○）

- 「おと姫バスを利用したことがない」が58.1%で最も多かった。
- 「利用回数は減っていない」は16.0%であり、『利用回数が減少した』（「利用回数が大幅に減った」と「利用回数が少し減った」の合計）の2.5%を大きく上回っている。

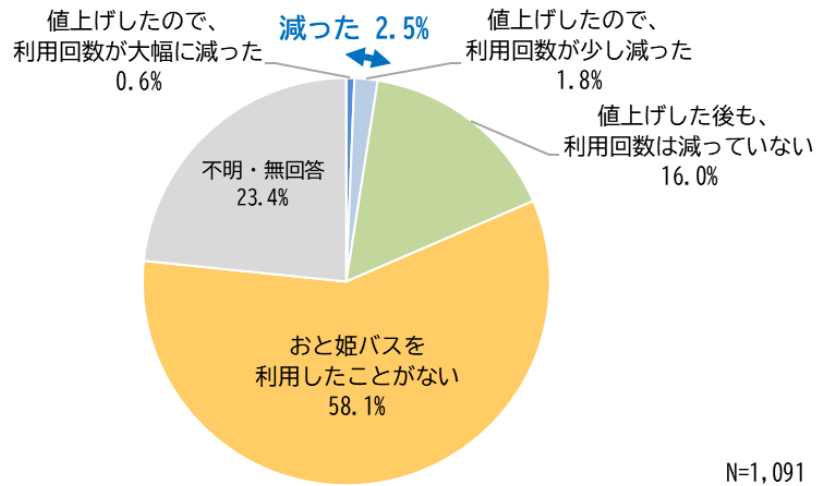


図 49 見直しによる利用回数の変化

(質問5) 本町の公共交通全般に関して

①昨年度、早朝・夜間に自動運航船「ゆき姫」(竹原～白水)の試験運航を行いました。
もし今後、フェリー営業時間外の早朝・夜間に、予約式の航路サービスが導入されたら、利用すると思いますか。(1つに○)

○今後のフェリー営業時間外の予約式運航サービスについて「利用しないと思う」が48.2%で最も多く、次いで「たぶん利用すると思う」が39.0%、「絶対に利用する」が3.3%となっている。

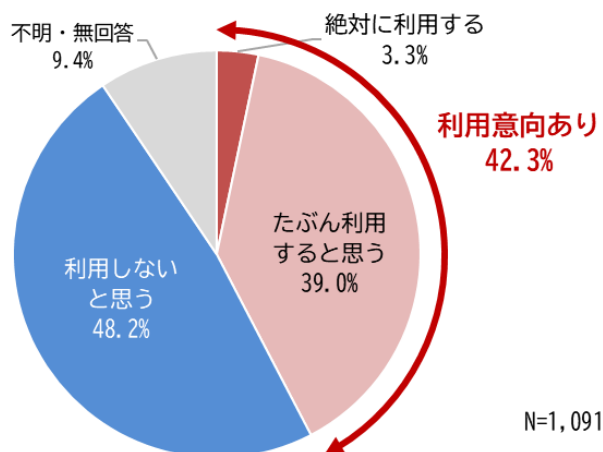


図 50 フェリー営業時間外の予約式運航サービスの利用意向

【フェリー営業時間外の予約式運航サービスで希望する航路】

(副問1) ※①で「1. 絶対に利用する」「2. たぶん利用すると思う」と回答された方にお聞きします。
特に希望する航路(1つに○)

○希望する航路では「竹原航路」が77.3%、「安芸航路」が13.2%であった。

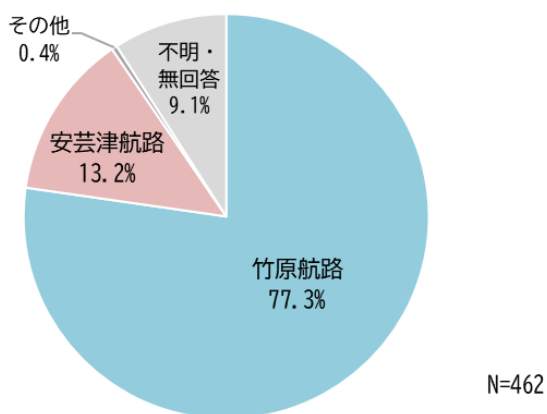


図 51 希望する航路

【フェリー営業時間外の予約式運航サービスで支払える運賃】

(副問2) ※①で「1. 絶対に利用する」「2. たぶん利用すると思う」と回答された方にお聞きします。
支払える運賃：1乗船あたり（大人・1名）

○フェリー営業時間外の予約式運航サービスで支払える運賃で最も多かったのは「1,000円～1,500円」で32.3%であった。

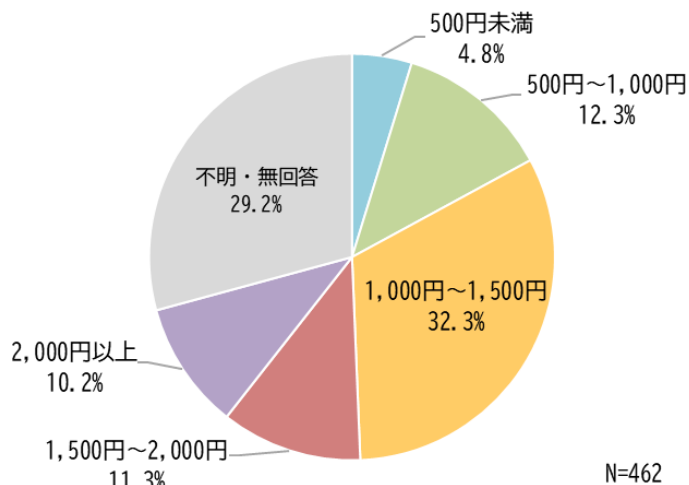


図 52 支払える運賃

【フェリー営業時間外の予約式運航サービスで利用したい目的】

(副問3) ※①で「1. 絶対に利用する」「2. たぶん利用すると思う」と回答された方にお聞きします。
利用したい目的（該当するもの全てに○）

○フェリー営業時間外の予約式運航サービスで利用したい目的は「通院」が43.1%で最も多く、「飲食」（17.7%）、「業務」（6.5%）と続いている。

○「その他」の具体的な内容は、旅行や娯楽などの意見が多い。

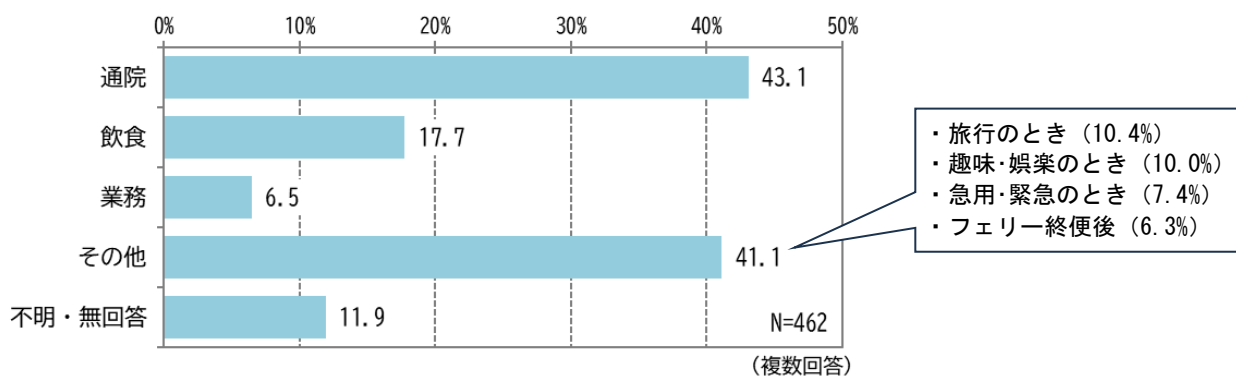


図 53 利用したい目的 [複数回答]

②公共交通へのご意見等ありましたら、交通手段をお選びいただき、内容をお教えてください。【意見がある公共交通（該当するもの全てに○）】

○公共交通への意見の中で最も多かったのは「フェリー」で24.5%であった。次いで「デマンド型おと姫バス」が9.4%となっている。

○フェリーに関する具体的な意見は、運賃が高い・島民割希望が109件と非常に多い。また、白水港と垂水港の両方寄港または統一希望（34件）、バスとフェリーの乗りつぎが不便（18件）、始発便・終便時刻への希望（18件）といった意見も多い。

○デマンド型おと姫バスに関する具体的な意見は、予約が取れない・取りにくいという意見が15件。

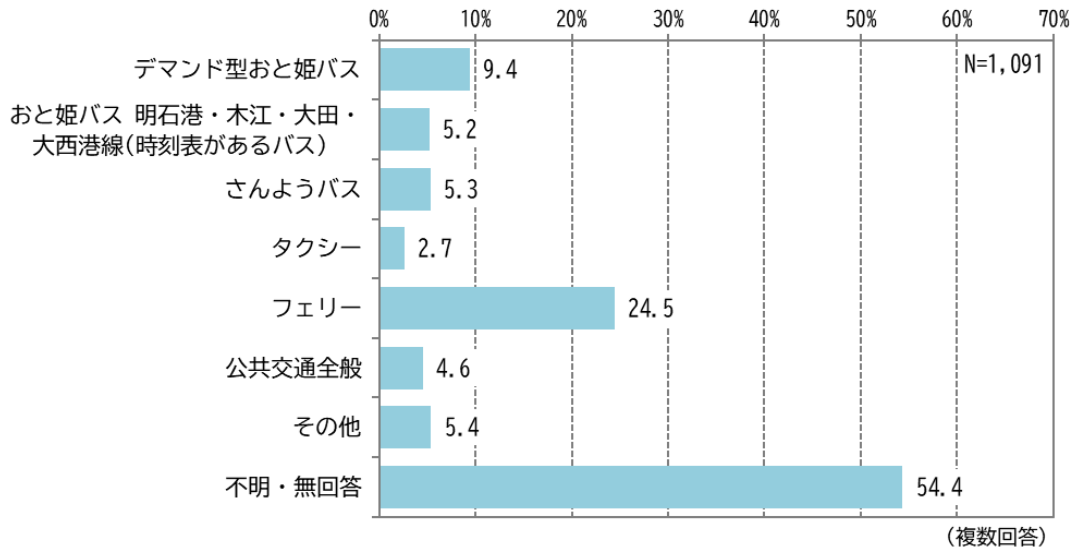


図 54 公共交通への意見 [複数回答]

表 7 公共交通への意見（自由記述）[1/2]

() 数字はのべ件数

デマンド型おと姫バス	<ul style="list-style-type: none"> ・予約が取れない/取りにくい(15)・デマンド型は便利/継続希望(11) ・運行台数増加希望(6)・家の前で乗降希望(デマンド型)(6) ・乗降ポイントの増設希望(デマンド型)(5)・運行時間拡大希望(5)・デマンド型は帰りが不便(5)・登録・予約方法がわかりにくい(4)・フリー乗降導入希望(3)・空席ありの場合は予約なしで利用可に(3)・デマンド型になり値上がったのが不満(3) ・デマンド型とフェリーとの乗りつぎが不便/車両を小型化すべき/運行エリア拡大希望/学生は専用車を出すべき/免許返納後はデマンド型を利用希望(各2) ・小人料金範囲の拡大/到着時間の予測が出来ず不便/1人利用は時間調整してまとめるべき/通勤利用は値上げすべき/乗務員の対応が良くない/予約しても来てくれない/運営会社への不満(各1)
おと姫バス(時刻表あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・定時定路型おと姫の復活・ルート改善希望(8)・バスの増便希望(5) ・時刻表がわかりづらい(3) ・定時定路型おと姫の維持希望/値下げ希望(各2) ・バス車両を小型化すべき/フリー乗降導入希望(各1)
さんようバス	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの増便希望/ダイヤが不便(7)・助かっている/現状維持を希望(3)・バス車両を小型化すべき(3)・利用者のない時間帯の運行は無駄(3)・大田での待ち時間・乗換が不便(3) ・値下げ希望/車両整備不具合(排気ガス)(各1)

表 8 公共交通への意見（自由記述）[2/2]

定時定路バス	<ul style="list-style-type: none"> ・バスルート改善・増設希望(4) ・運賃が高い/島民にとって便利なバスに/乗務員に対する不満/バス車両のバリアフリー希望（各2） ・定時定路型おと姫バスとさんようバスの同時刻運行改善/バスの乗り方が難しい/現状維持を希望/バスの増便希望/バスの一本化希望（各1）
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・運行台数増加希望(12)・早朝・夜間・休日に利用できない(6)・料金が安い/補助希望(3) ・高齢者への割引・助成（タクシー券等）(3) ・タクシーの予約が取りにくい/タクシーの予約方法がわからない（各1）
フェリー	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃が高い/値下げ・島民割引希望(109)・白水港と垂水港両方に寄港/統一希望(34) ・バスとフェリーとの乗りつぎが不便(18)・フェリーの始発便・終便時刻への希望(18) ・フェリー船の設備・環境改善希望（船舶本体、トイレ、子ども・高齢者・障害者設備）(16) ・フェリー増便・ダイヤ調整(13)・フェリー港の駐車場がない・狭い(11) ・フェリー料金制度の改善希望（一律料金・利用期限延長・定期券・回数券共通化）(10) ・フェリー航路の維持・充実・復活(7)・二港間の移動手段導入希望(6) ・かぐや姫とフェリーとの乗りつぎが不便(5)・フェリー船員・誘導員に対する不満(4) ・JRとフェリーとの乗りつぎが不便(4)・フェリーの改札改善希望(3) ・フェリーの欠航が多い・不便(3)・現金以外での支払い方法導入希望（フェリー）(3) ・フェリー港の切符売り場が遠い/フェリーの運航時間短縮（速度アップ）希望/フェリー港の待合施設・駐輪場の環境改善/フェリー運航の情報提供不足（欠航時）/便利（フェリー）(各2) ・フェリー船員の対応が良い/フェリーに動物持込希望（各1）
公共交通全般	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者も利用しやすい公共交通に(8)・将来の移動手段への不安(7) ・各種情報提供の充実（料金、乗りつぎ、営業時間、町の公共交通政策）(6) ・利用者ニーズに応じた交通政策を(5)・現状維持希望、将来は利用する(4) ・島内住民への運賃補助/ライドシェアの導入希望/島内の公共交通全般への不満（各2） ・自動運転の導入動向が知りたい/運賃支払い方法の多様化希望/夜間の交通手段がない/子どもの習い事にも駐車場料金の助成希望/カーシェアの導入希望/運賃が高い（全般）(各1)
その他 ゆき姫	<ul style="list-style-type: none"> ・高速船の復活希望(9)・ゆき姫の増便希望(3) ・ゆき姫航路の充実希望（安芸津航路、竹原～めばる航路）/ゆき姫は車が乗れないので不便/ゆき姫の費用対効果に疑問/ゆき姫は怖くて乗れない（各2） ・ゆき姫の運賃が高い/救急海上タクシー導入希望/予約不要の航路サービス導入希望（各1）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本土との架橋希望(5)・道路環境改善（歩道、歩行帯、道路幅）(2)